

# 補助金チェックシート

## (1) 補助の内容

作成年度 28 年度

1補助金名称	裾野地区労働者福祉協議会補助金				2担当課名	商工観光課	
3予算科目	款	5	項	1	目	1	事業コード 0501
4現在考えている事業期間	終期設定の有無		無				
	開始	H17以前	年度	～	終期(予定)	—	年度 (終期設定有の場合のみ)
5根拠例規の有無	有		例規名称 裾野市産業に関する補助金交付要綱				
6性質別分類①	d市単独助成			7性質別分類②	a運営費補助		
8交付先分類	c特定団体(その他)						
9交付先	裾野地区労働者福祉協議会						
10補助金の目的	労働者の福祉活動の推進						
11補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	労働者福利の向上						
12補助対象者・団体等が補助金で行う活動	労働者福祉制度の拡充改善、社会貢献活動						

13積算根拠の有無	無						
14積算の考え方 計算式	要望額を踏まえ決定						

15補助対象経費の設定の有無	無								
16補助対象経費の内容	交際費		慶弔費		飲食費		懇親会費		積立金
その他補助対象の項目									

17団体等の構成員数	26 年度	27 年度	補足
団体	21	21	
人数	236	236	

18市の補助金の財源	決算		予算	(千円)
	26 年度	27 年度	28 年度	
国・県支出金	0	0	0	補足
その他補助金	0	0	0	
一般財源	236	236	150	
合計	236	236	150	

19団体・事業の財務内容	26 年度	27 年度	補足	
補助金 助成金	市	236	236	
	その他	345	576	
事業収入	0	0		
会費	0	153		
繰越金	175	317		
その他	265	279		
合計	1,021	1,561		
市の補助金の割合	23%	15%		

補助金名称	裾野地区労働者福祉協議会補助金	担当課名	商工観光課
-------	-----------------	------	-------

## (2)直近の見直しの状況(過去5年間)

1見直しの有無	有	→	2見直した年度	H28	年度
3内容	概ね2/3に削減				

## (3)基本的な視点からの評価

評価項目及び視点	適否	(△・×の場合のみ記入)理由・説明
<b>【必要性】</b>		
①目的・内容に、補助を行うに足りる公益性が認められるか	○	
②補助金目的が、開始時点と比べて希薄化していないか	○	
③広く市民生活の向上に貢献するか	○	
④市民ニーズが高い事業か	○	
⑤補助金で行われている活動に対して、市が関与する必要性があるか	○	
⑥市が補助金を支出しなかった場合、多大なマイナスの影響があるか (ある→○、ない→×)	○	
<b>【妥当性】</b>		
⑦直接執行や委託等ではなく、補助金という手段が最適か	○	
⑧最適な補助対象か	○	
<b>【有効性】</b>		
⑨補助金額に見合う効果が十分に期待できるか	○	
⑩目的や目標を適切に設定できているか	○	
<b>【公平性】</b>		
⑪その他の団体や市民との間で公平性が保たれているか	○	
⑫交付先や補助金額は公平に決められているか	○	

補助金名称	裾野地区労働者福祉協議会補助金	担当課名	商工観光課
-------	-----------------	------	-------

### (5) ガイドラインの見直しの視点

評価項目	適否	(△・×の場合のみ記入)理由と今後の対応
①補助金の終期を設定しているか	×	政策的事業であり、当分の間継続する
②積算基準は定められているか (前年踏襲になっていないか)	○	
③補助要綱で補助対象となる経費が明確 になっているか	○	
④補助対象経費に懇親会費、交際費、積立金等の 補助対象として適当でない経費が含まれていないか	○	
⑤補助率の上限が、補助対象経費の2分 の1以内になっているか	○	
⑥繰越金・積立金・余剰金・内部留保の額 は適切か	○	
⑦類似した補助金はないか	○	
⑧自主財源の確保に努めているか (最低でも前年度の収入を確保しているか)	△	H29より会費の徴収に取り組む
⑨再補助(交付先が再補助)はないか	○	
⑩履行確認は、適切にできているか	○	

### (6) 補助効果の検証

1補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	労働者福利の向上
2達成状況	概ね達成している

3補助効果の評価	b一定の効果をあげている
4評価の理由	相互協力により労働者の福祉向上に努めている

### (7) 今後の方向性

今後の方向性	b見直した上で継続		
「a現行のまま継続」の場合		「b見直した上で継続」の場合	
継続の理由		見直しの内容	会費収入の状況により見直し
		見直しの時期	
「c廃止する」の場合		「dその他」の場合	
廃止の理由		その他の内容	
廃止の時期			

# 補助金チェックシート

## (1) 補助の内容

作成年度 28年度

1補助金名称	商工会ビジネス交流会補助金				2担当課名	商工観光課		
3予算科目	款	7	項	1	目	1	事業コード	0701
4現在考えている事業期間	終期設定の有無		無					
	開始	H19	年度	～	終期(予定)	—	年度	(終期設定有の場合のみ)
5根拠例規の有無	有	例規名称 裾野市産業に関する補助金交付要綱						
6性質別分類①	d市単独助成				7性質別分類②	b事業費補助		
8交付先分類	c特定団体(その他)							
9交付先	裾野市商工会							
10補助金の目的	製造業者の取引拡大、技術力の向上及び情報交換機会の提供							
11補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	参加企業数、ビジネスマッチングの件数							
12補助対象者・団体等が補助金で行う活動	ビジネス交流会の開催							
13積算根拠の有無	無							
14積算の考え方 計算式	要望額を踏まえ決定							
15補助対象経費の設定の有無	無							
16補助対象経費の内容	交際費		慶弔費		飲食費		懇親会費	積立金
その他補助対象の項目								
17団体等の構成員数	26年度	27年度	補足					
団体								
人数								
18市の補助金の財源	決算		予算		(千円)			
	26年度	27年度	28年度	補足				
国・県支出金	0	0	0					
その他補助金	0	0	0					
一般財源	291	341	340					
合計	291	341	340					
19団体・事業の財務内容	26年度	27年度	補足					
補助金	市	291	341					
助成金	その他	500	250					
事業収入		264	0					
会費		437	380					
繰越金		20	0					
その他		0	0					
合計		1,512	971					
市の補助金の割合		19%	35%					

補助金名称	商工会ビジネス交流会補助金	担当課名	商工観光課
-------	---------------	------	-------

## (2)直近の見直しの状況(過去5年間)

1見直しの有無	有	→	2見直した年度	H28	年度
3内容	1千円減額				

## (3)基本的な視点からの評価

評価項目及び視点	適否	(△・×の場合のみ記入)理由・説明
<b>【必要性】</b>		
①目的・内容に、補助を行うに足りる公益性が認められるか	○	
②補助金目的が、開始時点と比べて希薄化していないか	○	
③広く市民生活の向上に貢献するか	○	
④市民ニーズが高い事業か	○	
⑤補助金で行われている活動に対して、市が関与する必要性があるか	○	
⑥市が補助金を支出しなかった場合、多大なマイナスの影響があるか (ある→○、ない→×)	○	
<b>【妥当性】</b>		
⑦直接執行や委託等ではなく、補助金という手段が最適か	○	
⑧最適な補助対象か	○	
<b>【有効性】</b>		
⑨補助金額に見合う効果が十分に期待できるか	○	
⑩目的や目標を適切に設定できているか	○	
<b>【公平性】</b>		
⑪その他の団体や市民との間で公平性が保たれているか	○	
⑫交付先や補助金額は公平に決められているか	○	

補助金名称	商工会ビジネス交流会補助金	担当課名	商工観光課
-------	---------------	------	-------

### (5) ガイドラインの見直しの視点

評価項目	適否	(△・×の場合のみ記入)理由と今後の対応
①補助金の終期を設定しているか	×	事業終了をもって廃止を検討
②積算基準は定められているか (前年踏襲になっていないか)	○	
③補助要綱で補助対象となる経費が明確 になっているか	○	
④補助対象経費に懇親会費、交際費、積立金等の 補助対象として適当でない経費が含まれていないか	○	
⑤補助率の上限が、補助対象経費の2分 の1以内になっているか	○	
⑥繰越金・積立金・余剰金・内部留保の額 は適切か	○	
⑦類似した補助金はないか	○	
⑧自主財源の確保に努めているか (最低でも前年度の収入を確保しているか)	○	
⑨再補助(交付先が再補助)はないか	○	
⑩履行確認は、適切にできているか	○	

### (6) 補助効果の検証

1補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	参加企業数、ビジネスマッチングの件数
2達成状況	参加企業数、参加者とも増加傾向

3補助効果の評価	b一定の効果をあげている
4評価の理由	ビジネス交流の促進が期待できる

### (7) 今後の方向性

今後の方向性	a現行のまま継続		
「a現行のまま継続」の場合		「b見直した上で継続」の場合	
継続の理由	積極的な展開を期待している	見直しの内容	
		見直しの時期	
「c廃止する」の場合		「dその他」の場合	
廃止の理由		その他の内容	
廃止の時期			

# 補助金チェックシート

## (1) 補助の内容

作成年度 28 年度

1 補助金名称	商工会(小規模事業指導費)補助金			2 担当課名	商工観光課					
3 予算科目	款	7	項	1	目	1	事業コード	0701		
4 現在考えている事業期間	終期設定の有無		無							
	開始	S35	年度	~	終期(予定)	—	年度	(終期設定有の場合のみ)		
5 根拠例規の有無	有	例規名称 裾野市小規模事業指導費補助金交付要綱								
6 性質別分類①	b(市の上乗せあり)国・県の制度との連動			7 性質別分類②	a 運営費補助					
8 交付先分類	c 特定団体(その他)									
9 交付先	裾野市商工会									
10 補助金の目的	小規模事業者の経営又は技術革新の改善、地域内経済の振興と小規模事業者の安定									
11 補助金により期待される効果・目標(アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	中小事業者の支援、会員数の増加									
12 補助対象者・団体等が補助金で行う活動	地域商工業者の経営改善に関する相談指導、地域内経済振興、社会一般の福祉の増進									
13 積算根拠の有無	無									
14 積算の考え方 計算式	要望額を踏まえ決定									
15 補助対象経費の設定の有無	無									
16 補助対象経費の内容	交際費		慶弔費		飲食費		懇親会費		積立金	
その他補助対象の項目										
17 団体等の構成員数	26 年度	27 年度	補足							
団体	793	755	会員数							
人数										
	決算		予算		(千円)					
18 市の補助金の財源	26 年度	27 年度	28 年度	補足						
国・県支出金	0	0	0							
その他補助金	0	0	0							
一般財源	10,200	10,200	10,200							
合計	10,200	10,200	10,200							
19 団体・事業の財務内容	26 年度	27 年度	補足							
補助金	市	10,200	10,200							
助成金	その他	27,416	30,829							
事業収入		21,548	21,972							
会費		12,284	14,555							
繰越金		613	1,208							
その他		704	3,403							
合計		72,765	82,167							
市の補助金の割合		14%	12%							

補助金名称	商工会(小規模事業指導費)補助金	担当課名	商工観光課
-------	------------------	------	-------

## (2)直近の見直しの状況(過去5年間)

1見直しの有無	無	→	2見直した年度	年度
3内容				

## (3)基本的な視点からの評価

評価項目及び視点	適否	(△・×の場合のみ記入)理由・説明
<b>【必要性】</b>		
①目的・内容に、補助を行うに足りる公益性が認められるか	○	
②補助金目的が、開始時点と比べて希薄化していないか	○	
③広く市民生活の向上に貢献するか	○	
④市民ニーズが高い事業か	○	
⑤補助金で行われている活動に対して、市が関与する必要性があるか	○	
⑥市が補助金を支出しなかった場合、多大なマイナスの影響があるか (ある→○、ない→×)	○	
<b>【妥当性】</b>		
⑦直接執行や委託等ではなく、補助金という手段が最適か	○	
⑧最適な補助対象か	○	
<b>【有効性】</b>		
⑨補助金額に見合う効果が十分に期待できるか	○	
⑩目的や目標を適切に設定できているか	○	
<b>【公平性】</b>		
⑪その他の団体や市民との間で公平性が保たれているか	○	
⑫交付先や補助金額は公平に決められているか	○	

補助金名称	商工会(小規模事業指導費)補助金	担当課名	商工観光課
-------	------------------	------	-------

### (5) ガイドラインの見直しの視点

評価項目	適否	(△・×の場合のみ記入)理由と今後の対応
①補助金の終期を設定しているか	×	法令に基づく団体であり、終期設定に馴染まない
②積算基準は定められているか (前年踏襲になっていないか)	○	
③補助要綱で補助対象となる経費が明確 になっているか	○	
④補助対象経費に懇親会費、交際費、積立金等の 補助対象として適当でない経費が含まれていないか	○	
⑤補助率の上限が、補助対象経費の2分 の1以内になっているか	○	
⑥繰越金・積立金・余剰金・内部留保の額 は適切か	○	
⑦類似した補助金はないか	○	
⑧自主財源の確保に努めているか (最低でも前年度の収入を確保しているか)	○	
⑨再補助(交付先が再補助)はないか	○	
⑩履行確認は、適切にできているか	○	

### (6) 補助効果の検証

1補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	中小事業者の支援、会員数の増加
2達成状況	会員拡大による新規加入もあるが、退会廃業等により会員数事業規模が減少傾向

3補助効果の評価	b一定の効果をあげている
4評価の理由	中小の商工業者の支援につながっている

### (7) 今後の方向性

今後の方向性	a現行のまま継続		
「a現行のまま継続」の場合		「b見直した上で継続」の場合	
継続の理由	中小の商工事業者支援のため必要である	見直しの内容	
		見直しの時期	
「c廃止する」の場合		「dその他」の場合	
廃止の理由		その他の内容	
廃止の時期			

# 補助金チェックシート

## (1) 補助の内容

作成年度 28 年度

1補助金名称	フェスタすその補助金				2担当課名	商工観光課		
3予算科目	款	7	項	1	目	1	事業コード	0701
4現在考えている事業期間	終期設定の有無		無					
	開始	S49	年度	～	終期(予定)	—	年度	(終期設定有の場合のみ)
5根拠例規の有無	有	例規名称 裾野市産業に関する補助金交付要綱						
6性質別分類①	d市単独助成				7性質別分類②	b事業費補助		
8交付先分類	c特定団体(その他)							
9交付先	裾野市商工会							
10補助金の目的	商工業者と市民のふれあいの機会の提供、商品・製品展示即売							
11補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	参加者数、出店者の売り上げ							
12補助対象者・団体等が補助金で行う活動	フェスタすその開催							
13積算根拠の有無	無							
14積算の考え方 計算式	要望額を踏まえ決定							
15補助対象経費の設定の有無	無							
16補助対象経費の内容	交際費		慶弔費		飲食費		懇親会費	積立金
その他補助対象の項目								
17団体等の構成員数	26 年度	27 年度	補足					
団体								
人数								
	決算		予算		(千円)			
18市の補助金の財源	26 年度	27 年度	28 年度	補足				
国・県支出金	0	0	0					
その他補助金	0	0	0					
一般財源	1,100	1,100	1,100					
合計	1,100	1,100	1,100					
19団体・事業の財務内容	26 年度	27 年度	補足					
補助金	市	1,100	1,100					
助成金	その他	1,206	1,310					
事業収入	0	0						
会費	565	694						
繰越金	0	0						
その他	3,500	0						
合計	6,371	3,104						
市の補助金の割合	17%	35%						

補助金名称	フェスタすその補助金	担当課名	商工観光課
-------	------------	------	-------

## (2)直近の見直しの状況(過去5年間)

1見直しの有無	無	→	2見直した年度	年度
3内容				

## (3)基本的な視点からの評価

評価項目及び視点	適否	(△・×の場合のみ記入)理由・説明
<b>【必要性】</b>		
①目的・内容に、補助を行うに足りる公益性が認められるか	○	
②補助金目的が、開始時点と比べて希薄化していないか	○	
③広く市民生活の向上に貢献するか	○	
④市民ニーズが高い事業か	○	
⑤補助金で行われている活動に対して、市が関与する必要性があるか	○	
⑥市が補助金を支出しなかった場合、多大なマイナスの影響があるか (ある→○、ない→×)	○	
<b>【妥当性】</b>		
⑦直接執行や委託等ではなく、補助金という手段が最適か	○	
⑧最適な補助対象か	○	
<b>【有効性】</b>		
⑨補助金額に見合う効果が十分に期待できるか	○	
⑩目的や目標を適切に設定できているか	○	
<b>【公平性】</b>		
⑪その他の団体や市民との間で公平性が保たれているか	○	
⑫交付先や補助金額は公平に決められているか	○	

補助金名称	フェスタすその補助金	担当課名	商工観光課
-------	------------	------	-------

### (5) ガイドラインの見直しの視点

評価項目	適否	(△・×の場合のみ記入)理由と今後の対応
①補助金の終期を設定しているか	×	事業終了をもって廃止を検討
②積算基準は定められているか (前年踏襲になっていないか)	○	
③補助要綱で補助対象となる経費が明確 になっているか	○	
④補助対象経費に懇親会費、交際費、積立金等の 補助対象として適当でない経費が含まれていないか	○	
⑤補助率の上限が、補助対象経費の2分 の1以内になっているか	○	
⑥繰越金・積立金・余剰金・内部留保の額 は適切か	○	
⑦類似した補助金はないか	○	
⑧自主財源の確保に努めているか (最低でも前年度の収入を確保しているか)	○	
⑨再補助(交付先が再補助)はないか	○	
⑩履行確認は、適切にできているか	○	

### (6) 補助効果の検証

1補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	参加者数、出店者の売り上げ
2達成状況	イベントの工夫もあり、参加者売り上げも増加傾向にある

3補助効果の評価	a十分効果をあげている
4評価の理由	市民に定着し、盛り上がっている

### (7) 今後の方向性

今後の方向性	a現行のまま継続		
「a現行のまま継続」の場合		「b見直した上で継続」の場合	
継続の理由	市民に定着しており必要である	見直しの内容	
		見直しの時期	
「c廃止する」の場合		「dその他」の場合	
廃止の理由		その他の内容	
廃止の時期			

# 補助金チェックシート

## (1) 補助の内容

作成年度 28 年度

1 補助金名称	すそのブランド推進委員会補助金				2 担当課名	商工観光課		
3 予算科目	款	7	項	1	目	1	事業コード	0701
4 現在考えている事業期間	終期設定の有無		無					
	開始	H20	年度	～	終期(予定)	—	年度	(終期設定有の場合のみ)
5 根拠例規の有無	有	例規名称 裾野市産業に関する補助金交付要綱						
6 性質別分類①	d市単独助成				7 性質別分類②	b事業費補助		
8 交付先分類	c特定団体(その他)							
9 交付先	裾野市商工会							
10 補助金の目的	すそのブランドの確立による市内の特産品の掘り起こし、磨き上げ、情報発信							
11 補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	ブランド品の認知度、売り上げの増							
12 補助対象者・団体等が補助金で行う活動	すそのブランドの認定、販売拡大の支援							
13 積算根拠の有無	無							
14 積算の考え方 計算式	要望額を踏まえ決定							
15 補助対象経費の設定の有無	無							
16 補助対象経費の内容	交際費		慶弔費		飲食費		懇親会費	積立金
その他補助対象の項目								
17 団体等の構成員数	26 年度	27 年度	補足					
団体								
人数								
18 市の補助金の財源	決算		予算		(千円)			
	26 年度	27 年度	28 年度	補足				
国・県支出金	0	0	0					
その他補助金	0	0	0					
一般財源	850	650	650					
合計	850	650	650					
19 団体・事業の財務内容	26 年度	27 年度	補足					
補助金 助成金	市	850	650					
	その他	0	0					
事業収入	0	110						
会費	886	0						
繰越金	0	0						
その他	36	0						
合計	1,772	760						
市の補助金の割合	48%	86%						

補助金名称	すそのブランド推進委員会補助金	担当課名	商工観光課
-------	-----------------	------	-------

## (2)直近の見直しの状況(過去5年間)

1見直しの有無	無	→	2見直した年度	年度
3内容				

## (3)基本的な視点からの評価

評価項目及び視点	適否	(△・×の場合のみ記入)理由・説明
<b>【必要性】</b>		
①目的・内容に、補助を行うに足りる公益性が認められるか	○	
②補助金目的が、開始時点と比べて希薄化していないか	○	
③広く市民生活の向上に貢献するか	○	
④市民ニーズが高い事業か	○	
⑤補助金で行われている活動に対して、市が関与する必要性があるか	○	
⑥市が補助金を支出しなかった場合、多大なマイナスの影響があるか(ある→○、ない→×)	○	
<b>【妥当性】</b>		
⑦直接執行や委託等ではなく、補助金という手段が最適か	○	
⑧最適な補助対象か	○	
<b>【有効性】</b>		
⑨補助金額に見合う効果が十分に期待できるか	△	
⑩目的や目標を適切に設定できているか	△	ブランドの確立によるその後方向性が見えない
<b>【公平性】</b>		
⑪その他の団体や市民との間で公平性が保たれているか	○	
⑫交付先や補助金額は公平に決められているか	○	

補助金名称	すそのブランド推進委員会補助金	担当課名	商工観光課
-------	-----------------	------	-------

### (5) ガイドラインの見直しの視点

評価項目	適否	(△・×の場合のみ記入)理由と今後の対応
①補助金の終期を設定しているか	×	事業終了をもって廃止を検討
②積算基準は定められているか (前年踏襲になっていないか)	○	
③補助要綱で補助対象となる経費が明確になっているか	○	
④補助対象経費に懇親会費、交際費、積立金等の補助対象として適当でない経費が含まれていないか	○	
⑤補助率の上限が、補助対象経費の2分の1以内になっているか	×	自主財源の確保を促す
⑥繰越金・積立金・余剰金・内部留保の額は適切か	○	
⑦類似した補助金はないか	○	
⑧自主財源の確保に努めているか (最低でも前年度の収入を確保しているか)	○	
⑨再補助(交付先が再補助)はないか	○	
⑩履行確認は、適切にできているか	○	

### (6) 補助効果の検証

1補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	ブランド品の認知度、売り上げの増
2達成状況	ブランド品の数は増加しているが、認知度向上の工夫が必要

3補助効果の評価	c効果が疑問である
4評価の理由	事業内容に工夫が必要

### (7) 今後の方向性

今後の方向性	b見直した上で継続		
「a現行のまま継続」の場合		「b見直した上で継続」の場合	
継続の理由		見直しの内容	事業内容に工夫が必要
		見直しの時期	H28
「c廃止する」の場合		「dその他」の場合	
廃止の理由		その他の内容	
廃止の時期			

# 補助金チェックシート

## (1) 補助の内容

作成年度 28 年度

1補助金名称	小口資金融資制度補助金				2担当課名	商工観光課				
3予算科目	款	7	項	1	目	1	事業コード	0701		
4現在考えている事業期間	終期設定の有無		無							
	開始	H14	年度	～	終期(予定)	—	年度	(終期設定有の場合のみ)		
5根拠例規の有無	有	例規名称 裾野市小口資金利子補給要綱								
6性質別分類①	d市単独助成				7性質別分類②	c利子補給補助				
8交付先分類	d不特定団体及び個人									
9交付先	個人									
10補助金の目的	小規模事業者の資金融通の促進、事業者の健全な育成									
11補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	中小事業者の倒産件数の減									
12補助対象者・団体等が補助金で行う活動	事業運営									
13積算根拠の有無	有									
14積算の考え方 計算式	1.08%。貸付限度700万									
15補助対象経費の設定の有無	有									
16補助対象経費の内容	交際費	×	慶弔費	×	飲食費	×	懇親会費	×	積立金	×
その他補助対象の項目	事業資金									
17団体等の構成員数	26 年度	27 年度	補足							
団体	—	—								
人数	—	—								
	決算		予算		(千円)					
18市の補助金の財源	26 年度	27 年度	28 年度	補足						
国・県支出金	0	0	0							
その他補助金	0	0	0							
一般財源	5,820	5,820	4,000							
合計	5,820	5,820	4,000							
19団体・事業の財務内容	26 年度	27 年度	補足							
補助金	市		—							
助成金	その他		0							
事業収入	0		0							
会費	0		0							
繰越金	0		0							
その他	0		0							
合計	0		0							
市の補助金の割合	0		0							

補助金名称	小口資金融資制度補助金	担当課名	商工観光課
-------	-------------	------	-------

## (2)直近の見直しの状況(過去5年間)

1見直しの有無	有	→	2見直した年度	H28	年度
3内容	実績に合わせ減額				

## (3)基本的な視点からの評価

評価項目及び視点	適否	(△・×の場合のみ記入)理由・説明
<b>【必要性】</b>		
①目的・内容に、補助を行うに足りる公益性が認められるか	○	
②補助金目的が、開始時点と比べて希薄化していないか	○	
③広く市民生活の向上に貢献するか	○	
④市民ニーズが高い事業か	○	
⑤補助金で行われている活動に対して、市が関与する必要性があるか	○	
⑥市が補助金を支出しなかった場合、多大なマイナスの影響があるか (ある→○、ない→×)	○	
<b>【妥当性】</b>		
⑦直接執行や委託等ではなく、補助金という手段が最適か	○	
⑧最適な補助対象か	○	
<b>【有効性】</b>		
⑨補助金額に見合う効果が十分に期待できるか	○	
⑩目的や目標を適切に設定できているか	○	
<b>【公平性】</b>		
⑪その他の団体や市民との間で公平性が保たれているか	○	
⑫交付先や補助金額は公平に決められているか	○	

補助金名称	小口資金融資制度補助金	担当課名	商工観光課
-------	-------------	------	-------

### (5) ガイドラインの見直しの視点

評価項目	適否	(△・×の場合のみ記入)理由と今後の対応
①補助金の終期を設定しているか	×	施策的事業であり当分の間継続する
②積算基準は定められているか (前年踏襲になっていないか)	○	
③補助要綱で補助対象となる経費が明確 になっているか	○	
④補助対象経費に懇親会費、交際費、積立金等の 補助対象として適当でない経費が含まれていないか	○	
⑤補助率の上限が、補助対象経費の2分 の1以内になっているか	○	
⑥繰越金・積立金・余剰金・内部留保の額 は適切か	○	
⑦類似した補助金はないか	○	
⑧自主財源の確保に努めているか (最低でも前年度の収入を確保しているか)	○	
⑨再補助(交付先が再補助)はないか	○	
⑩履行確認は、適切にできているか	○	

### (6) 補助効果の検証

1補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	中小事業者の倒産件数の減
2達成状況	

3補助効果の評価	b一定の効果をあげている
4評価の理由	中小事業者の支援に必要である

### (7) 今後の方向性

今後の方向性	a現行のまま継続		
「a現行のまま継続」の場合		「b見直した上で継続」の場合	
継続の理由	中小事業者にとって有効である	見直しの内容	
		見直しの時期	
「c廃止する」の場合		「dその他」の場合	
廃止の理由		その他の内容	
廃止の時期			

# 補助金チェックシート

## (1) 補助の内容

作成年度 28 年度

1補助金名称	裾野市建設業組合補助金				2担当課名	商工観光課		
3予算科目	款	7	項	1	目	1	事業コード	0701
4現在考えている事業期間	終期設定の有無		無					
	開始	H17以前	年度	～	終期(予定)	—	年度	(終期設定有の場合のみ)
5根拠例規の有無	有		例規名称 裾野市産業に関する補助金交付要綱					
6性質別分類①	d市単独助成				7性質別分類②	b事業費補助		
8交付先分類	c特定団体(その他)							
9交付先	裾野市建設業組合							
10補助金の目的	親子工作教室の開催等							
11補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	親子工作教室参加者の満足度							
12補助対象者・団体等が補助金で行う活動	親子工作教室の開催							
13積算根拠の有無	無							
14積算の考え方 計算式	要望額を踏まえ決定							
15補助対象経費の設定の有無	無							
16補助対象経費の内容	交際費		慶弔費		飲食費		懇親会費	積立金
その他補助対象の項目								
17団体等の構成員数	26 年度	27 年度	補足					
団体								
人数								
18市の補助金の財源	決算		予算		(千円)			
	26 年度	27 年度	28 年度	補足				
国・県支出金	0	0	0					
その他補助金	0	0	0					
一般財源	110	110	110					
合計	110	110	110					
19団体・事業の財務内容	26 年度	27 年度	補足					
補助金	市	110	110					
助成金	その他	0	0					
事業収入		0	0					
会費		370	40					
繰越金		581	0					
その他		0	0					
合計		1,061	150					
市の補助金の割合		10%	73%					

補助金名称	裾野市建設業組合補助金	担当課名	商工観光課
-------	-------------	------	-------

## (2)直近の見直しの状況(過去5年間)

1見直しの有無	有	→	2見直した年度	H27	年度
3内容	団体補助から事業補助へ切替				

## (3)基本的な視点からの評価

評価項目及び視点	適否	(△・×の場合のみ記入)理由・説明
<b>【必要性】</b>		
①目的・内容に、補助を行うに足りる公益性が認められるか	○	
②補助金目的が、開始時点と比べて希薄化していないか	○	
③広く市民生活の向上に貢献するか	△	対象者数を増やすなど工夫が必要
④市民ニーズが高い事業か	△	定着しているが、対象者数が少なくニーズが高いと言えない
⑤補助金で行われている活動に対して、市が関与する必要性があるか	○	
⑥市が補助金を支出しなかった場合、多大なマイナスの影響があるか (ある→○、ない→×)	○	
<b>【妥当性】</b>		
⑦直接執行や委託等ではなく、補助金という手段が最適か	○	
⑧最適な補助対象か	○	
<b>【有効性】</b>		
⑨補助金額に見合う効果が十分に期待できるか	△	
⑩目的や目標を適切に設定できているか	○	
<b>【公平性】</b>		
⑪その他の団体や市民との間で公平性が保たれているか	○	
⑫交付先や補助金額は公平に決められているか	○	

補助金名称	裾野市建設業組合補助金	担当課名	商工観光課
-------	-------------	------	-------

### (5) ガイドラインの見直しの視点

評価項目	適否	(△・×の場合のみ記入)理由と今後の対応
①補助金の終期を設定しているか	×	事業終了をもって廃止を検討
②積算基準は定められているか (前年踏襲になっていないか)	○	
③補助要綱で補助対象となる経費が明確 になっているか	○	
④補助対象経費に懇親会費、交際費、積立金等の 補助対象として適当でない経費が含まれていないか	○	
⑤補助率の上限が、補助対象経費の2分 の1以内になっているか	×	事実上事業委託の状況にある
⑥繰越金・積立金・余剰金・内部留保の額 は適切か	○	
⑦類似した補助金はないか	○	
⑧自主財源の確保に努めているか (最低でも前年度の収入を確保しているか)	△	参加負担金等の徴収或いは一人あたりの単価の低減が必要
⑨再補助(交付先が再補助)はないか	○	
⑩履行確認は、適切にできているか	○	

### (6) 補助効果の検証

1補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	親子工作教室参加者の満足度
2達成状況	対象者数を増やすなど工夫が必要である

3補助効果の評価	c効果が疑問である
4評価の理由	事業内容に工夫が必要

### (7) 今後の方向性

今後の方向性	b見直した上で継続		
「a現行のまま継続」の場合		「b見直した上で継続」の場合	
継続の理由		見直しの内容	事業内容の見直し(一人当たりの単価の低減)
		見直しの時期	H28年度
「c廃止する」の場合		「dその他」の場合	
廃止の理由		その他の内容	
廃止の時期			

# 補助金チェックシート

## (1) 補助の内容

作成年度 28年度

1補助金名称	住宅建設等促進事業補助金				2担当課名	商工観光課				
3予算科目	款	7	項	1	目	1	事業コード	0701		
4現在考えている事業期間	終期設定の有無		有							
	開始	H24	年度	～	終期(予定)	H29	年度	(終期設定有の場合のみ)		
5根拠例規の有無	有		例規名称		裾野市住宅建設等促進事業補助金交付要綱					
6性質別分類①	d市単独助成				7性質別分類②	b事業費補助				
8交付先分類	c特定団体(その他)									
9交付先	裾野市商工会									
10補助金の目的	定住人口増加、住宅耐震補強工事の促進及び地域経済の活性化									
11補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	定住人口増加、住宅耐震補強工事の促進及び地域経済の活性化									
12補助対象者・団体等が補助金で行う活動	施行者に対する住宅建築等促進事業費補助金の交付									
13積算根拠の有無	有									
14積算の考え方 計算式	10/100。上限:リフォーム20万、新築50万									
15補助対象経費の設定の有無	有									
16補助対象経費の内容	交際費	×	慶弔費	×	飲食費	×	懇親会費	×	積立金	×
その他補助対象の項目	工事費									
17団体等の構成員数	26年度	27年度	補足							
団体	—	—								
人数	—	—								
	決算		予算		(千円)					
18市の補助金の財源	26年度	27年度	28年度	補足						
国・県支出金	0	0	0							
その他補助金	0	0	0							
一般財源	25,090	33,512	25,000							
合計	25,090	33,512	25,000							
19団体・事業の財務内容	26年度	27年度	補足							
補助金	市	25,090	33,512							
助成金	その他	20	20							
事業収入	0	0								
会費	0	0								
繰越金	0	0								
その他	1	1								
合計	25,111	33,533								
市の補助金の割合	100%	100%								

補助金名称	住宅建設等促進事業補助金	担当課名	商工観光課
-------	--------------	------	-------

## (2)直近の見直しの状況(過去5年間)

1見直しの有無	有	→	2見直した年度	H26	年度
3内容	当初H24～26であったが、29まで3年間延長				

## (3)基本的な視点からの評価

評価項目及び視点	適否	(△・×の場合のみ記入)理由・説明
<b>【必要性】</b>		
①目的・内容に、補助を行うに足りる公益性が認められるか	○	
②補助金目的が、開始時点と比べて希薄化していないか	○	
③広く市民生活の向上に貢献するか	○	
④市民ニーズが高い事業か	○	
⑤補助金で行われている活動に対して、市が関与する必要性があるか	○	
⑥市が補助金を支出しなかった場合、多大なマイナスの影響があるか (ある→○、ない→×)	○	
<b>【妥当性】</b>		
⑦直接執行や委託等ではなく、補助金という手段が最適か	○	
⑧最適な補助対象か	○	
<b>【有効性】</b>		
⑨補助金額に見合う効果が十分に期待できるか	○	
⑩目的や目標を適切に設定できているか	○	
<b>【公平性】</b>		
⑪その他の団体や市民との間で公平性が保たれているか	○	
⑫交付先や補助金額は公平に決められているか	○	

補助金名称	住宅建設等促進事業補助金	担当課名	商工観光課
-------	--------------	------	-------

### (5) ガイドラインの見直しの視点

評価項目	適否	(△・×の場合のみ記入)理由と今後の対応
①補助金の終期を設定しているか	○	
②積算基準は定められているか (前年踏襲になっていないか)	○	
③補助要綱で補助対象となる経費が明確 になっているか	○	
④補助対象経費に懇親会費、交際費、積立金等の 補助対象として適当でない経費が含まれていないか	○	
⑤補助率の上限が、補助対象経費の2分 の1以内になっているか	○	
⑥繰越金・積立金・余剰金・内部留保の額 は適切か	○	
⑦類似した補助金はないか	○	
⑧自主財源の確保に努めているか (最低でも前年度の収入を確保しているか)	—	
⑨再補助(交付先が再補助)はないか	○	
⑩履行確認は、適切にできているか	○	

### (6) 補助効果の検証

1補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	定住人口増加、住宅耐震補強工事の促進及び地域経済の活性化
2達成状況	概ね達成している

3補助効果の評価	a十分効果をあげている
4評価の理由	定住人口増加策として適当である

### (7) 今後の方向性

今後の方向性	dその他		
「a現行のまま継続」の場合		「b見直した上で継続」の場合	
継続の理由		見直しの内容	
		見直しの時期	
「c廃止する」の場合		「dその他」の場合	
廃止の理由		その他の内容	H29年度に継続の有無を判断
廃止の時期			

# 補助金チェックシート

## (1) 補助の内容

作成年度 28年度

1補助金名称	開業パワーアップ支援資金・新分野貸付利子補給等補助金				2担当課名	商工観光課				
3予算科目	款	7	項	1	目	1	事業コード	0701		
4現在考えている事業期間	終期設定の有無		無							
	開始	H25	年度	～	終期(予定)	—	年度	(終期設定有の場合のみ)		
5根拠例規の有無	有	例規名称 裾野市特別政策資金利子補給金交付要綱								
6性質別分類①	d市単独助成				7性質別分類②	c利子補給補助				
8交付先分類	d不特定団体及び個人									
9交付先	個人									
10補助金の目的	中小企業者の支援									
11補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	中小企業者の支援、貸付件数									
12補助対象者・団体等が補助金で行う活動	起業の支援									
13積算根拠の有無	無									
14積算の考え方 計算式	0.47%。貸付限度2500万									
15補助対象経費の設定の有無	有									
16補助対象経費の内容	交際費	×	慶弔費	×	飲食費	×	懇親会費	×	積立金	×
その他補助対象の項目	利子補給									
17団体等の構成員数	26年度	27年度	補足							
団体	—	—								
人数	—	—								
18市の補助金の財源	決算		予算		(千円)					
	26年度	27年度	28年度	補足						
国・県支出金	0	0	0							
その他補助金	0	0	0							
一般財源	32	34	200							
合計	32	34	200							
19団体・事業の財務内容	26年度	27年度	補足							
補助金	市	—	—							
助成金	その他	0	0							
事業収入	0	0								
会費	0	0								
繰越金	0	0								
その他	0	0								
合計	0	0								
市の補助金の割合	—	—								

補助金名称	開業パワーアップ支援資金・新分野貸付利子補給等補助金	担当課名	商工観光課
-------	----------------------------	------	-------

## (2)直近の見直しの状況(過去5年間)

1見直しの有無	有	→	2見直した年度	H28	年度
3内容	実績に合わせ減額				

## (3)基本的な視点からの評価

評価項目及び視点	適否	(△・×の場合のみ記入)理由・説明
<b>【必要性】</b>		
①目的・内容に、補助を行うに足りる公益性が認められるか	○	
②補助金目的が、開始時点と比べて希薄化していないか	○	
③広く市民生活の向上に貢献するか	○	
④市民ニーズが高い事業か	○	
⑤補助金で行われている活動に対して、市が関与する必要性があるか	○	
⑥市が補助金を支出しなかった場合、多大なマイナスの影響があるか (ある→○、ない→×)	○	
<b>【妥当性】</b>		
⑦直接執行や委託等ではなく、補助金という手段が最適か	○	
⑧最適な補助対象か	○	
<b>【有効性】</b>		
⑨補助金額に見合う効果が十分に期待できるか	○	
⑩目的や目標を適切に設定できているか	○	
<b>【公平性】</b>		
⑪その他の団体や市民との間で公平性が保たれているか	○	
⑫交付先や補助金額は公平に決められているか	○	

補助金名称	開業パワーアップ支援資金・新分野貸付利子補給等補助金	担当課名	商工観光課
-------	----------------------------	------	-------

### (5) ガイドラインの見直しの視点

評価項目	適否	(△・×の場合のみ記入)理由と今後の対応
①補助金の終期を設定しているか	×	施策的事業であり当分の間継続する
②積算基準は定められているか (前年踏襲になっていないか)	○	
③補助要綱で補助対象となる経費が明確 になっているか	○	
④補助対象経費に懇親会費、交際費、積立金等の 補助対象として適当でない経費が含まれていないか	○	
⑤補助率の上限が、補助対象経費の2分 の1以内になっているか	○	
⑥繰越金・積立金・余剰金・内部留保の額 は適切か	○	
⑦類似した補助金はないか	○	
⑧自主財源の確保に努めているか (最低でも前年度の収入を確保しているか)	○	
⑨再補助(交付先が再補助)はないか	○	
⑩履行確認は、適切にできているか	○	

### (6) 補助効果の検証

1補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	中小企業者の支援、貸付件数
2達成状況	

3補助効果の評価	b一定の効果をあげている
4評価の理由	事業者の支援に必要である

### (7) 今後の方向性

今後の方向性	a現行のまま継続		
「a現行のまま継続」の場合		「b見直した上で継続」の場合	
継続の理由	中小企業支援のため継続する	見直しの内容	
		見直しの時期	
「c廃止する」の場合		「dその他」の場合	
廃止の理由		その他の内容	
廃止の時期			

# 補助金チェックシート

## (1) 補助の内容

作成年度 28年度

1補助金名称	中小企業販路拡大事業等補助金				2担当課名	商工観光課				
3予算科目	款	7	項	1	目	1	事業コード	0701		
4現在考えている事業期間	終期設定の有無		無							
5根拠例規の有無	有	例規名称		裾野市中小企業販路拡大事業補助金交付要綱						
6性質別分類①	d市単独助成				7性質別分類②	b事業費補助				
8交付先分類	d不特定団体及び個人									
9交付先	個人									
10補助金の目的	中小企業者の販路拡大の促進による地域産業の活力ある発展									
11補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	販路拡大による経営支援									
12補助対象者・団体等が補助金で行う活動	商談会等への参加									
13積算根拠の有無	無									
14積算の考え方 計算式	2/3。上限20万									
15補助対象経費の設定の有無	有									
16補助対象経費の内容	交際費	×	慶弔費	×	飲食費	×	懇親会費	×	積立金	×
その他補助対象の項目	商談会等出展に係る小間料他									
17団体等の構成員数	26年度	27年度	補足							
団体	—	—								
人数	—	—								
18市の補助金の財源	決算		予算		(千円)					
	26年度	27年度	28年度	補足						
国・県支出金	0	0	0							
その他補助金	0	0	0							
一般財源	105	317	400							
合計	105	317	400							
19団体・事業の財務内容	26年度	27年度	補足							
補助金	市	—	—							
助成金	その他	0	0							
事業収入	0	0								
会費	0	0								
繰越金	0	0								
その他	0	0								
合計	0	0								
市の補助金の割合	—	—								

補助金名称	中小企業販路拡大事業等補助金	担当課名	商工観光課
-------	----------------	------	-------

## (2)直近の見直しの状況(過去5年間)

1見直しの有無	無	→	2見直した年度	年度
3内容				

## (3)基本的な視点からの評価

評価項目及び視点	適否	(△・×の場合のみ記入)理由・説明
<b>【必要性】</b>		
①目的・内容に、補助を行うに足りる公益性が認められるか	○	
②補助金目的が、開始時点と比べて希薄化していないか	○	
③広く市民生活の向上に貢献するか	○	
④市民ニーズが高い事業か	○	
⑤補助金で行われている活動に対して、市が関与する必要性があるか	○	
⑥市が補助金を支出しなかった場合、多大なマイナスの影響があるか (ある→○、ない→×)	○	
<b>【妥当性】</b>		
⑦直接執行や委託等ではなく、補助金という手段が最適か	○	
⑧最適な補助対象か	○	
<b>【有効性】</b>		
⑨補助金額に見合う効果が十分に期待できるか	○	
⑩目的や目標を適切に設定できているか	○	
<b>【公平性】</b>		
⑪その他の団体や市民との間で公平性が保たれているか	○	
⑫交付先や補助金額は公平に決められているか	○	

補助金名称	中小企業販路拡大事業等補助金	担当課名	商工観光課
-------	----------------	------	-------

### (5) ガイドラインの見直しの視点

評価項目	適否	(△・×の場合のみ記入)理由と今後の対応
①補助金の終期を設定しているか	○	
②積算基準は定められているか (前年踏襲になっていないか)	○	
③補助要綱で補助対象となる経費が明確 になっているか	○	
④補助対象経費に懇親会費、交際費、積立金等の 補助対象として適当でない経費が含まれていないか	○	
⑤補助率の上限が、補助対象経費の2分 の1以内になっているか	×	交付要綱により、積算の考え方が2/3、上限20万円のため
⑥繰越金・積立金・余剰金・内部留保の額 は適切か	○	
⑦類似した補助金はないか	○	
⑧自主財源の確保に努めているか (最低でも前年度の収入を確保しているか)	○	
⑨再補助(交付先が再補助)はないか	○	
⑩履行確認は、適切にできているか	○	

### (6) 補助効果の検証

1補助金により期待さ れる効果・目標 (アウトカム、アウトプ ット、具体的な数値等)	販路拡大による経営支援
2達成状況	利用の拡大に向けての周知が必要である

3補助効果の評価	b一定の効果をあげている
4評価の理由	事業者の支援に必要である

### (7) 今後の方向性

今後の方向性	a現行のまま継続		
「a現行のまま継続」の場合		「b見直した上で継続」の場合	
継続の理由	中小事業者にとって有効である	見直しの内容	
		見直しの時期	
「c廃止する」の場合		「dその他」の場合	
廃止の理由		その他の 内容	
廃止の時期			

# 補助金チェックシート

## (1) 補助の内容

作成年度 28 年度

1補助金名称	中小企業経営革新事業等補助金				2担当課名	商工観光課				
3予算科目	款	7	項	1	目	1	事業コード	0701		
4現在考えている事業期間	終期設定の有無		無							
	開始	H25	年度	～	終期(予定)	H30	年度	(終期設定有の場合のみ)		
5根拠例規の有無	有	例規名称 裾野市中小企業経営革新事業補助金交付要綱								
6性質別分類①	d市単独助成				7性質別分類②	b事業費補助				
8交付先分類	d不特定団体及び個人									
9交付先	個人									
10補助金の目的	新たな事業の創出の促進による地域産業の活力ある発展									
11補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	新たな事業の創出による経営支援									
12補助対象者・団体等が補助金で行う活動	事業運営									
13積算根拠の有無	無									
14積算の考え方 計算式	1/2。上限100万									
15補助対象経費の設定の有無	有									
16補助対象経費の内容	交際費	×	慶弔費	×	飲食費	×	懇親会費	×	積立金	×
その他補助対象の項目	事業資金									
17団体等の構成員数	26 年度	27 年度	補足							
団体	—	—								
人数	—	—								
18市の補助金の財源	決算		予算		(千円)					
	26 年度	27 年度	28 年度	補足						
国・県支出金	0	0	0							
その他補助金	0	0	0							
一般財源	1,000	2,000	2,000							
合計	1,000	2,000	2,000							
19団体・事業の財務内容	26 年度	27 年度	補足							
補助金	市	—	—							
助成金	その他	0	0							
事業収入	0	0								
会費	0	0								
繰越金	0	0								
その他	0	0								
合計	0	0								
市の補助金の割合	#VALUE!	#VALUE!								

補助金名称	中小企業経営革新事業等補助金	担当課名	商工観光課
-------	----------------	------	-------

## (2)直近の見直しの状況(過去5年間)

1見直しの有無	有	→	2見直した年度	H24	年度
3内容					

## (3)基本的な視点からの評価

評価項目及び視点	適否	(△・×の場合のみ記入)理由・説明
<b>【必要性】</b>		
①目的・内容に、補助を行うに足りる公益性が認められるか	○	
②補助金目的が、開始時点と比べて希薄化していないか	○	
③広く市民生活の向上に貢献するか	○	
④市民ニーズが高い事業か	○	
⑤補助金で行われている活動に対して、市が関与する必要性があるか	○	
⑥市が補助金を支出しなかった場合、多大なマイナスの影響があるか (ある→○、ない→×)	○	
<b>【妥当性】</b>		
⑦直接執行や委託等ではなく、補助金という手段が最適か	○	
⑧最適な補助対象か	○	
<b>【有効性】</b>		
⑨補助金額に見合う効果が十分に期待できるか	○	
⑩目的や目標を適切に設定できているか	○	
<b>【公平性】</b>		
⑪その他の団体や市民との間で公平性が保たれているか	○	
⑫交付先や補助金額は公平に決められているか	○	

補助金名称	中小企業経営革新事業等補助金	担当課名	商工観光課
-------	----------------	------	-------

### (5) ガイドラインの見直しの視点

評価項目	適否	(△・×の場合のみ記入)理由と今後の対応
①補助金の終期を設定しているか	○	
②積算基準は定められているか (前年踏襲になっていないか)	○	
③補助要綱で補助対象となる経費が明確 になっているか	○	
④補助対象経費に懇親会費、交際費、積立金等の 補助対象として適当でない経費が含まれていないか	○	
⑤補助率の上限が、補助対象経費の2分 の1以内になっているか	○	
⑥繰越金・積立金・余剰金・内部留保の額 は適切か	○	
⑦類似した補助金はないか	○	
⑧自主財源の確保に努めているか (最低でも前年度の収入を確保しているか)	○	
⑨再補助(交付先が再補助)はないか	○	
⑩履行確認は、適切にできているか	○	

### (6) 補助効果の検証

1補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	新たな事業の創出による経営支援
2達成状況	

3補助効果の評価	b一定の効果をあげている
4評価の理由	事業者の支援に必要である

### (7) 今後の方向性

今後の方向性	a現行のまま継続		
「a現行のまま継続」の場合		「b見直した上で継続」の場合	
継続の理由	中小事業者にとって有効である	見直しの内容	
		見直しの時期	
「c廃止する」の場合		「dその他」の場合	
廃止の理由		その他の内容	
廃止の時期			

# 補助金チェックシート

## (1) 補助の内容

作成年度 28 年度

1補助金名称	商店街美化灯設置事業費補助金(市内商店街)			2担当課名	商工観光課					
3予算科目	款	7	項	1	目	2	事業コード	0710		
4現在考えている事業期間	終期設定の有無		無							
	開始	S61	年度	~	終期(予定)	—	年度	(終期設定有の場合のみ)		
5根拠例規の有無	有	例規名称		裾野市商店街美化灯設置事業費補助金交付要綱						
6性質別分類①	d市単独助成			7性質別分類②	b事業費補助					
8交付先分類	c特定団体(その他)									
9交付先	すその駅前中央商店街、岩波商店街、東地区商工振興課									
10補助金の目的	商店街の美化と振興、消費者の安全の確保									
11補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	商店街美化と夜の安全の確保									
12補助対象者・団体が補助金で行う活動	美化灯の設置、維持管理									
13積算根拠の有無	有									
14積算の考え方 計算式	50/100以内									
15補助対象経費の設定の有無	有									
16補助対象経費の内容	交際費	×	慶弔費	×	飲食費	×	懇親会費	×	積立金	×
その他補助対象の項目	美化灯設置、修繕費									
17団体等の構成員数	26 年度	27 年度	補足							
団体										
人数										
	決算		予算		(千円)					
18市の補助金の財源	26 年度	27 年度	28 年度	補足						
国・県支出金	0	0	0							
その他補助金	0	0	0							
一般財源	635	35	200							
合計	635	35	200							
19団体・事業の財務内容	26 年度	27 年度	補足							
補助金	市		635	35						
助成金	その他		0	0						
事業収入			0	0						
会費			2,401	351						
繰越金			0	0						
その他			0	0						
合計			3,036	386						
市の補助金の割合			21%	9%						

補助金名称	商店街美化灯設置事業費補助金(市内商店街)	担当課名	商工観光課
-------	-----------------------	------	-------

### (2)直近の見直しの状況(過去5年間)

1見直しの有無	有	→	2見直した年度	H24	年度
3内容	LED化に伴う増減の結果、減少				

### (3)基本的な視点からの評価

評価項目及び視点	適否	(△・×の場合のみ記入)理由・説明
<b>【必要性】</b>		
①目的・内容に、補助を行うに足りる公益性が認められるか	○	
②補助金目的が、開始時点と比べて希薄化していないか	○	
③広く市民生活の向上に貢献するか	○	
④市民ニーズが高い事業か	○	
⑤補助金で行われている活動に対して、市が関与する必要性があるか	○	
⑥市が補助金を支出しなかった場合、多大なマイナスの影響があるか(ある→○、ない→×)	○	
<b>【妥当性】</b>		
⑦直接執行や委託等ではなく、補助金という手段が最適か	○	
⑧最適な補助対象か	○	
<b>【有効性】</b>		
⑨補助金額に見合う効果が十分に期待できるか	○	
⑩目的や目標を適切に設定できているか	○	美化灯の適切な管理
<b>【公平性】</b>		
⑪その他の団体や市民との間で公平性が保たれているか	○	
⑫交付先や補助金額は公平に決められているか	○	

補助金名称	商店街美化灯設置事業費補助金(市内商店街)	担当課名	商工観光課
-------	-----------------------	------	-------

### (5) ガイドラインの見直しの視点

評価項目	適否	(△・×の場合のみ記入)理由と今後の対応
①補助金の終期を設定しているか	×	当分の間継続する
②積算基準は定められているか (前年踏襲になっていないか)	○	
③補助要綱で補助対象となる経費が明確 になっているか	○	
④補助対象経費に懇親会費、交際費、積立金等の 補助対象として適当でない経費が含まれていないか	○	
⑤補助率の上限が、補助対象経費の2分 の1以内になっているか	○	
⑥繰越金・積立金・余剰金・内部留保の額 は適切か	○	
⑦類似した補助金はないか	○	
⑧自主財源の確保に努めているか (最低でも前年度の収入を確保しているか)	○	
⑨再補助(交付先が再補助)はないか	○	
⑩履行確認は、適切にできているか	○	

### (6) 補助効果の検証

1補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	商店街美化と夜の安全の確保
2達成状況	LED化により電球の交換等の費用が減少している

3補助効果の評価	b一定の効果をあげている
4評価の理由	商店街の安全確保に必要である

### (7) 今後の方向性

今後の方向性	a現行のまま継続		
「a現行のまま継続」の場合		「b見直した上で継続」の場合	
継続の理由	商店街の安全に必要である	見直しの内容	
		見直しの時期	
「c廃止する」の場合		「dその他」の場合	
廃止の理由		その他の内容	
廃止の時期			

# 補助金チェックシート

## (1) 補助の内容

作成年度 28 年度

1補助金名称	商店街美化灯電気料補助金(市内商店街)				2担当課名	商工観光課							
3予算科目	款	7	項	1	目	2	事業コード	0710					
4現在考えている事業期間	終期設定の有無		無		開始		S61	年度	~	終期(予定)	—	年度	(終期設定有の場合のみ)
5根拠例規の有無	有		例規名称		裾野市商店街美化灯設置事業費補助金交付要綱								
6性質別分類①	d市単独助成				7性質別分類②	b事業費補助							
8交付先分類	c特定団体(その他)												
9交付先	すその駅前中央商店街、岩波商店街、東地区商工振興課												
10補助金の目的	商店街の美化と振興、消費者の安全の確保												
11補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	商店街美化と夜の安全の確保												
12補助対象者・団体等が補助金で行う活動	電気料の支払い												
13積算根拠の有無	有												
14積算の考え方 計算式	45/100以内												
15補助対象経費の設定の有無	有												
16補助対象経費の内容	交際費	×	慶弔費	×	飲食費	×	懇親会費	×	積立金	×			
その他補助対象の項目	美化灯に係る電気料												
17団体等の構成員数	26 年度	27 年度	補足										
団体													
人数													
18市の補助金の財源	決算		予算		(千円)								
	26 年度	27 年度	28 年度		補足								
国・県支出金	0	0	0										
その他補助金	0	0	0										
一般財源	324	140	200										
合計	324	140	200										
19団体・事業の財務内容	26 年度	27 年度	補足										
補助金	324	140											
助成金	0	0											
事業収入	0	0											
会費	396	171											
繰越金	0	0											
その他	0	0											
合計	720	311											
市の補助金の割合	45%	45%											

補助金名称	商店街美化灯電気料補助金(市内商店街)	担当課名	商工観光課
-------	---------------------	------	-------

## (2)直近の見直しの状況(過去5年間)

1見直しの有無	有	→	2見直した年度	H24	年度
3内容	LED化に伴う実績に合わせ減額				

## (3)基本的な視点からの評価

評価項目及び視点	適否	(△・×の場合のみ記入)理由・説明
<b>【必要性】</b>		
①目的・内容に、補助を行うに足りる公益性が認められるか	○	
②補助金目的が、開始時点と比べて希薄化していないか	○	
③広く市民生活の向上に貢献するか	○	
④市民ニーズが高い事業か	○	
⑤補助金で行われている活動に対して、市が関与する必要性があるか	○	
⑥市が補助金を支出しなかった場合、多大なマイナスの影響があるか(ある→○、ない→×)	○	
<b>【妥当性】</b>		
⑦直接執行や委託等ではなく、補助金という手段が最適か	○	
⑧最適な補助対象か	○	
<b>【有効性】</b>		
⑨補助金額に見合う効果が十分に期待できるか	○	
⑩目的や目標を適切に設定できているか	○	美化灯の適切な管理
<b>【公平性】</b>		
⑪その他の団体や市民との間で公平性が保たれているか	○	
⑫交付先や補助金額は公平に決められているか	○	

補助金名称	商店街美化灯電気料補助金(市内商店街)	担当課名	商工観光課
-------	---------------------	------	-------

### (5) ガイドラインの見直しの視点

評価項目	適否	(△・×の場合のみ記入)理由と今後の対応
①補助金の終期を設定しているか	×	当分の間継続する
②積算基準は定められているか (前年踏襲になっていないか)	○	
③補助要綱で補助対象となる経費が明確 になっているか	○	
④補助対象経費に懇親会費、交際費、積立金等の 補助対象として適当でない経費が含まれていないか	○	
⑤補助率の上限が、補助対象経費の2分 の1以内になっているか	○	
⑥繰越金・積立金・余剰金・内部留保の額 は適切か	○	
⑦類似した補助金はないか	○	
⑧自主財源の確保に努めているか (最低でも前年度の収入を確保しているか)	○	
⑨再補助(交付先が再補助)はないか	○	
⑩履行確認は、適切にできているか	○	

### (6) 補助効果の検証

1補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	商店街美化と夜の安全の確保
2達成状況	LED化により電気料が大幅に減少した

3補助効果の評価	b一定の効果をあげている
4評価の理由	商店街の安全確保に必要である

### (7) 今後の方向性

今後の方向性	a現行のまま継続		
「a現行のまま継続」の場合		「b見直した上で継続」の場合	
継続の理由	商店街の安全に必要である	見直しの内容	
		見直しの時期	
「c廃止する」の場合		「dその他」の場合	
廃止の理由		その他の内容	
廃止の時期			

# 補助金チェックシート

## (1) 補助の内容

作成年度 28年度

1補助金名称	商店街イベント振興事業補助金				2担当課名	商工観光課				
3予算科目	款	7	項	1	目	2	事業コード	0710		
4現在考えている事業期間	終期設定の有無		無							
	開始	S54	年度	～	終期(予定)	—	年度	(終期設定有の場合のみ)		
5根拠例規の有無	有	例規名称 裾野市商店街活性化対策事業補助金交付要綱								
6性質別分類①	d市単独助成				7性質別分類②	b事業費補助				
8交付先分類	c特定団体(その他)									
9交付先	東地区商工振興会、富岡商店街									
10補助金の目的	商工業の発展及び地域の活性化									
11補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	商店街の地域貢献の支援と活性化									
12補助対象者・団体等が補助金で行う活動	道路側溝のペイント大会開催									
13積算根拠の有無	有									
14積算の考え方 計算式	39千円/1商店街									
15補助対象経費の設定の有無	有									
16補助対象経費の内容	交際費	×	慶弔費	×	飲食費	×	懇親会費	×	積立金	×
その他補助対象の項目	イベント開催費用									
17団体等の構成員数	26年度	27年度	補足							
団体										
人数										
18市の補助金の財源	決算		予算		(千円)					
	26年度	27年度	28年度	補足						
国・県支出金	0	0	0							
その他補助金	0	0	0							
一般財源	39	75	117							
合計	39	75	117							
19団体・事業の財務内容	26年度	27年度	補足							
補助金	市	39	75							
助成金	その他	0	370							
事業収入		0	0							
会費		500	258							
繰越金		0	0							
その他		0	0							
合計		539	703							
市の補助金の割合		7%	11%							

補助金名称	商店街イベント振興事業補助金	担当課名	商工観光課
-------	----------------	------	-------

## (2)直近の見直しの状況(過去5年間)

1見直しの有無	無	→	2見直した年度	年度
3内容				

## (3)基本的な視点からの評価

評価項目及び視点	適否	(△・×の場合のみ記入)理由・説明
<b>【必要性】</b>		
①目的・内容に、補助を行うに足りる公益性が認められるか	○	
②補助金目的が、開始時点と比べて希薄化していないか	○	
③広く市民生活の向上に貢献するか	○	
④市民ニーズが高い事業か	○	
⑤補助金で行われている活動に対して、市が関与する必要性があるか	○	
⑥市が補助金を支出しなかった場合、多大なマイナスの影響があるか (ある→○、ない→×)	○	
<b>【妥当性】</b>		
⑦直接執行や委託等ではなく、補助金という手段が最適か	○	
⑧最適な補助対象か	○	
<b>【有効性】</b>		
⑨補助金額に見合う効果が十分に期待できるか	○	
⑩目的や目標を適切に設定できているか	○	
<b>【公平性】</b>		
⑪その他の団体や市民との間で公平性が保たれているか	○	
⑫交付先や補助金額は公平に決められているか	○	

補助金名称	商店街イベント振興事業補助金	担当課名	商工観光課
-------	----------------	------	-------

### (5) ガイドラインの見直しの視点

評価項目	適否	(△・×の場合のみ記入)理由と今後の対応
①補助金の終期を設定しているか	×	当分の間継続する
②積算基準は定められているか (前年踏襲になっていないか)	○	
③補助要綱で補助対象となる経費が明確 になっているか	○	
④補助対象経費に懇親会費、交際費、積立金等の 補助対象として適当でない経費が含まれていないか	○	
⑤補助率の上限が、補助対象経費の2分 の1以内になっているか	○	
⑥繰越金・積立金・余剰金・内部留保の額 は適切か	○	
⑦類似した補助金はないか	○	
⑧自主財源の確保に努めているか (最低でも前年度の収入を確保しているか)	○	
⑨再補助(交付先が再補助)はないか	○	
⑩履行確認は、適切にできているか	○	

### (6) 補助効果の検証

1補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	商店街の地域貢献の支援と活性化
2達成状況	

3補助効果の評価	b一定の効果을あげている
4評価の理由	商店街の活性化に繋がっている

### (7) 今後の方向性

今後の方向性	a現行のまま継続		
「a現行のまま継続」の場合		「b見直した上で継続」の場合	
継続の理由	中小企業者にとって有効である	見直しの内容	
		見直しの時期	
「c廃止する」の場合		「dその他」の場合	
廃止の理由		その他の内容	
廃止の時期			

# 補助金チェックシート

## (1) 補助の内容

作成年度 28 年度

1補助金名称	すその阿波おどり大会補助金				2担当課名	商工観光課		
3予算科目	款	7	項	1	目	2	事業コード	0710
4現在考えている事業期間	終期設定の有無		無					
	開始	S59	年度	～	終期(予定)	—	年度	(終期設定有の場合のみ)
5根拠例規の有無	有	例規名称	裾野市商店街活性化対策事業補助金交付要綱					
6性質別分類①	d市単独助成				7性質別分類②	b事業費補助		
8交付先分類	c特定団体(その他)							
9交付先	すその阿波おどり実行委員会							
10補助金の目的	商工業の発展及び地域の活性化							
11補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	来客消費による商業者の売上増とまちの賑わいの創出							
12補助対象者・団体等が補助金で行う活動	阿波おどり大会の開催							
13積算根拠の有無	無							
14積算の考え方 計算式	要望額を踏まえ決定							
15補助対象経費の設定の有無	無							
16補助対象経費の内容	交際費		慶弔費		飲食費		懇親会費	積立金
その他補助対象の項目								
17団体等の構成員数	26 年度	27 年度	補足					
団体								
人数								
18市の補助金の財源	決算		予算		(千円)			
	26 年度	27 年度	28 年度	補足				
国・県支出金	0	0	0					
その他補助金	0	0	0					
一般財源	2,000	2,000	2,000					
合計	2,000	2,000	2,000					
19団体・事業の財務内容	26 年度	27 年度	補足					
補助金 助成金	市	2,000	2,000					
	その他	0	0					
事業収入	1,291	977						
会費	1,012	1,232						
繰越金	540	304						
その他	138	134						
合計	4,981	4,647						
市の補助金の割合	40%	43%						

補助金名称	すその阿波おどり大会補助金	担当課名	商工観光課
-------	---------------	------	-------

## (2)直近の見直しの状況(過去5年間)

1見直しの有無	無	→	2見直した年度	H25、H26	年度
3内容	H25記念大会(30回)のため2100に増額。H26に2000に減額				

## (3)基本的な視点からの評価

評価項目及び視点	適否	(△・×の場合のみ記入)理由・説明
<b>【必要性】</b>		
①目的・内容に、補助を行うに足りる公益性が認められるか	○	
②補助金目的が、開始時点と比べて希薄化していないか	○	
③広く市民生活の向上に貢献するか	○	
④市民ニーズが高い事業か	○	
⑤補助金で行われている活動に対して、市が関与する必要性があるか	○	
⑥市が補助金を支出しなかった場合、多大なマイナスの影響があるか (ある→○、ない→×)	○	
<b>【妥当性】</b>		
⑦直接執行や委託等ではなく、補助金という手段が最適か	○	
⑧最適な補助対象か	○	
<b>【有効性】</b>		
⑨補助金額に見合う効果が十分に期待できるか	○	
⑩目的や目標を適切に設定できているか	○	
<b>【公平性】</b>		
⑪その他の団体や市民との間で公平性が保たれているか	○	
⑫交付先や補助金額は公平に決められているか	○	

補助金名称	すその阿波おどり大会補助金	担当課名	商工観光課
-------	---------------	------	-------

### (5) ガイドラインの見直しの視点

評価項目	適否	(△・×の場合のみ記入)理由と今後の対応
①補助金の終期を設定しているか	×	事業の終了をもって廃止を検討
②積算基準は定められているか (前年踏襲になっていないか)	×	定めがない
③補助要綱で補助対象となる経費が明確になっているか	○	
④補助対象経費に懇親会費、交際費、積立金等の補助対象として適当でない経費が含まれていないか	○	
⑤補助率の上限が、補助対象経費の2分の1以内になっているか	○	
⑥繰越金・積立金・余剰金・内部留保の額は適切か	○	
⑦類似した補助金はないか	○	
⑧自主財源の確保に努めているか (最低でも前年度の収入を確保しているか)	○	
⑨再補助(交付先が再補助)はないか	○	
⑩履行確認は、適切にできているか	○	

### (6) 補助効果の検証

1補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	来客消費による商業者の売上増とまちの賑わいの創出
2達成状況	裾野駅前夏の風物詩として定着し、内外からの来客が多い

3補助効果の評価	a十分効果をあげている
4評価の理由	市民に定着し、賑わっている

### (7) 今後の方向性

今後の方向性	b見直した上で継続		
「a現行のまま継続」の場合		「b見直した上で継続」の場合	
継続の理由		見直しの内容	自主財源の増額(利用者負担)による減額を検討
		見直しの時期	H29
「c廃止する」の場合		「dその他」の場合	
廃止の理由		その他の内容	
廃止の時期			

# 補助金チェックシート

## (1) 補助の内容

作成年度 28 年度

1補助金名称	商店街活性化対策事業補助金(市内商店街等)			2担当課名	商工観光課					
3予算科目	款	7	項	1	目	2	事業コード	0710		
4現在考えている事業期間	終期設定の有無		無							
	開始	H22	年度	~	終期(予定)	—	年度	(終期設定有の場合のみ)		
5根拠例規の有無	有	例規名称		裾野市商店街活性化対策事業補助金交付要綱						
6性質別分類①	d市単独助成			7性質別分類②	b事業費補助					
8交付先分類	c特定団体(その他)									
9交付先	富岡商店街									
10補助金の目的	商工業の発展及び地域の活性化									
11補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	来客消費による商業者の売上増とまちの賑わいの創出									
12補助対象者・団体等が補助金で行う活動	青空朝市の開催									
13積算根拠の有無	無									
14積算の考え方 計算式	要望額を踏まえ決定									
15補助対象経費の設定の有無	無									
16補助対象経費の内容	交際費		慶弔費		飲食費		懇親会費		積立金	
その他補助対象の項目										
17団体等の構成員数	26 年度	27 年度	補足							
団体										
人数										
	決算		予算		(千円)					
18市の補助金の財源	26 年度	27 年度	28 年度	補足						
国・県支出金	0	0	0							
その他補助金	0	0	0							
一般財源	104	104	104							
合計	104	104	104							
19団体・事業の財務内容	26 年度	27 年度	補足							
補助金	市	104	104							
助成金	その他	0	0							
事業収入		0	0							
会費		157	197							
繰越金		78	76							
その他		42	0							
合計		381	377							
市の補助金の割合		27%	28%							

補助金名称	商店街活性化対策事業補助金(市内商店街等)	担当課名	商工観光課
-------	-----------------------	------	-------

## (2)直近の見直しの状況(過去5年間)

1見直しの有無	無	→	2見直した年度	年度
3内容				

## (3)基本的な視点からの評価

評価項目及び視点	適否	(△・×の場合のみ記入)理由・説明
<b>【必要性】</b>		
①目的・内容に、補助を行うに足りる公益性が認められるか	○	
②補助金目的が、開始時点と比べて希薄化していないか	○	
③広く市民生活の向上に貢献するか	○	
④市民ニーズが高い事業か	○	
⑤補助金で行われている活動に対して、市が関与する必要性があるか	○	
⑥市が補助金を支出しなかった場合、多大なマイナスの影響があるか (ある→○、ない→×)	○	
<b>【妥当性】</b>		
⑦直接執行や委託等ではなく、補助金という手段が最適か	○	
⑧最適な補助対象か	○	
<b>【有効性】</b>		
⑨補助金額に見合う効果が十分に期待できるか	○	
⑩目的や目標を適切に設定できているか	○	
<b>【公平性】</b>		
⑪その他の団体や市民との間で公平性が保たれているか	○	
⑫交付先や補助金額は公平に決められているか	○	

補助金名称	商店街活性化対策事業補助金(市内商店街等)	担当課名	商工観光課
-------	-----------------------	------	-------

### (5) ガイドラインの見直しの視点

評価項目	適否	(△・×の場合のみ記入)理由と今後の対応
①補助金の終期を設定しているか	×	当分の間継続する
②積算基準は定められているか (前年踏襲になっていないか)	×	定めがない
③補助要綱で補助対象となる経費が明確になっているか	○	
④補助対象経費に懇親会費、交際費、積立金等の補助対象として適当でない経費が含まれていないか	○	
⑤補助率の上限が、補助対象経費の2分の1以内になっているか	○	
⑥繰越金・積立金・余剰金・内部留保の額は適切か	○	
⑦類似した補助金はないか	○	
⑧自主財源の確保に努めているか (最低でも前年度の収入を確保しているか)	○	
⑨再補助(交付先が再補助)はないか	○	
⑩履行確認は、適切にできているか	○	

### (6) 補助効果の検証

1補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	来客消費による商業者の売上増とまちの賑わいの創出
2達成状況	

3補助効果の評価	b一定の効果をあげている
4評価の理由	商店街の活性化に繋がっている

### (7) 今後の方向性

今後の方向性	a現行のまま継続		
「a現行のまま継続」の場合		「b見直した上で継続」の場合	
継続の理由	商店街の活性化に繋がっている	見直しの内容	
		見直しの時期	
「c廃止する」の場合		「dその他」の場合	
廃止の理由		その他の内容	
廃止の時期			

# 補助金チェックシート

## (1) 補助の内容

作成年度 28 年度

1補助金名称	裾野市観光協会補助金			2担当課名	商工観光課					
3予算科目	款	7	項	1	目	3	事業コード	0720		
4現在考えている事業期間	終期設定の有無		無							
	開始	S53	年度	～	終期(予定)	—	年度	(終期設定有の場合のみ)		
5根拠例規の有無	有	例規名称 裾野市産業に関する補助金交付要綱								
6性質別分類①	d市単独助成			7性質別分類②	a運営費補助					
8交付先分類	c特定団体(その他)									
9交付先	裾野市観光協会									
10補助金の目的	観光事業の振興を図り、地方文化産業の発展向上に資する									
11補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	観光事業振興による地域経済の活性化									
12補助対象者・団体等が補助金で行う活動	市内及び近隣地の観光振興事業の振興、地方文化産業の発展向上、国際親善の増進による裾野市の発展									
13積算根拠の有無	無									
14積算の考え方 計算式	要望額を踏まえ決定									
15補助対象経費の設定の有無	無									
16補助対象経費の内容	交際費		慶弔費		飲食費		懇親会費		積立金	
その他補助対象の項目										
17団体等の構成員数	26 年度	27 年度	補足							
団体	120	128	会員数							
人数										
	決算		予算	(千円)						
18市の補助金の財源	26 年度	27 年度	28 年度	補足						
国・県支出金	0	0	0							
その他補助金	3,116	3,116	3,150							
一般財源	2,478	2,478	2,778							
合計	5,594	5,594	5,928							
19団体・事業の財務内容	26 年度	27 年度	補足							
補助金	市		5,594	5,594						
助成金	その他		0	0						
事業収入	5,326	4,397								
会費	1,815	1,810								
繰越金	1,047	1,025								
その他	367	307								
合計	14,149	13,133								
市の補助金の割合	40%	43%								

補助金名称	裾野市観光協会補助金	担当課名	商工観光課
-------	------------	------	-------

## (2)直近の見直しの状況(過去5年間)

1見直しの有無	有	→	2見直した年度	H28	年度
3内容	観光ガイド支援のため増額				

## (3)基本的な視点からの評価

評価項目及び視点	適否	(△・×の場合のみ記入)理由・説明
<b>【必要性】</b>		
①目的・内容に、補助を行うに足りる公益性が認められるか	○	
②補助金目的が、開始時点と比べて希薄化していないか	○	
③広く市民生活の向上に貢献するか	○	
④市民ニーズが高い事業か	○	
⑤補助金で行われている活動に対して、市が関与する必要性があるか	○	
⑥市が補助金を支出しなかった場合、多大なマイナスの影響があるか (ある→○、ない→×)	○	
<b>【妥当性】</b>		
⑦直接執行や委託等ではなく、補助金という手段が最適か	○	
⑧最適な補助対象か	○	
<b>【有効性】</b>		
⑨補助金額に見合う効果が十分に期待できるか	○	
⑩目的や目標を適切に設定できているか	○	
<b>【公平性】</b>		
⑪その他の団体や市民との間で公平性が保たれているか	○	
⑫交付先や補助金額は公平に決められているか	○	

補助金名称	裾野市観光協会補助金	担当課名	商工観光課
-------	------------	------	-------

### (5) ガイドラインの見直しの視点

評価項目	適否	(△・×の場合のみ記入)理由と今後の対応
①補助金の終期を設定しているか	×	当分の間継続する
②積算基準は定められているか (前年踏襲になっていないか)	×	定めがない
③補助要綱で補助対象となる経費が明確になっているか	○	
④補助対象経費に懇親会費、交際費、積立金等の補助対象として適当でない経費が含まれていないか	○	
⑤補助率の上限が、補助対象経費の2分の1以内になっているか	○	
⑥繰越金・積立金・余剰金・内部留保の額は適切か	○	
⑦類似した補助金はないか	○	
⑧自主財源の確保に努めているか (最低でも前年度の収入を確保しているか)	○	
⑨再補助(交付先が再補助)はないか	○	
⑩履行確認は、適切にできているか	○	

### (6) 補助効果の検証

1補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	観光事業振興による地域経済の活性化
2達成状況	夏まつりの運営等、観光イベントの開催に貢献している

3補助効果の評価	b一定の効果をあげている
4評価の理由	観光振興の要となっている

### (7) 今後の方向性

今後の方向性	b見直した上で継続		
「a現行のまま継続」の場合		「b見直した上で継続」の場合	
継続の理由		見直しの内容	更なる体制強化の検討
		見直しの時期	H29
「c廃止する」の場合		「dその他」の場合	
廃止の理由		その他の内容	
廃止の時期			

# 補助金チェックシート

## (1) 補助の内容

作成年度 28 年度

1 補助金名称	すその夏まつり補助金				2 担当課名	商工観光課		
3 予算科目	款	7	項	1	目	3	事業コード	0720
4 現在考えている事業期間	終期設定の有無		無					
	開始	S47	年度	～	終期(予定)	—	年度	(終期設定有の場合のみ)
5 根拠例規の有無	有	例規名称 裾野市産業に関する補助金交付要綱						
6 性質別分類①	d市単独助成				7 性質別分類②	b事業費補助		
8 交付先分類	c特定団体(その他)							
9 交付先	裾野市夏まつり実行委員会							
10 補助金の目的	市民あげてのコミュニティの場の創出。裾野市の魅力の発信による観光振興							
11 補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	来客消費による商業者の売上増と市民のコミュニティの創出							
12 補助対象者・団体等が補助金で行う活動	すその夏まつりの開催							
13 積算根拠の有無	無							
14 積算の考え方 計算式	要望額を踏まえ決定							
15 補助対象経費の設定の有無	無							
16 補助対象経費の内容	交際費		慶弔費		飲食費		懇親会費	積立金
その他補助対象の項目								
17 団体等の構成員数	26 年度	27 年度	補足					
団体								
人数								
18 市の補助金の財源	決算		予算		(千円)			
	26 年度	27 年度	28 年度	補足				
国・県支出金	0	0	0					
その他補助金	0	0	0					
一般財源	17,870	17,870	17,870					
合計	17,870	17,870	17,870					
19 団体・事業の財務内容	26 年度	27 年度	補足					
補助金	17,870	17,870						
助成金								
市	17,870	17,870						
その他	0	0						
事業収入	5,330	7,493						
会費	0	0						
繰越金	2,664	1,642						
その他	7,034	7,493						
合計	32,898	34,498						
市の補助金の割合	54%	52%						

補助金名称	すその夏まつり補助金	担当課名	商工観光課
-------	------------	------	-------

## (2)直近の見直しの状況(過去5年間)

1見直しの有無	無	→	2見直した年度	年度
3内容				

## (3)基本的な視点からの評価

評価項目及び視点	適否	(△・×の場合のみ記入)理由・説明
<b>【必要性】</b>		
①目的・内容に、補助を行うに足りる公益性が認められるか	○	
②補助金目的が、開始時点と比べて希薄化していないか	○	
③広く市民生活の向上に貢献するか	○	
④市民ニーズが高い事業か	○	
⑤補助金で行われている活動に対して、市が関与する必要性があるか	○	
⑥市が補助金を支出しなかった場合、多大なマイナスの影響があるか (ある→○、ない→×)	○	
<b>【妥当性】</b>		
⑦直接執行や委託等ではなく、補助金という手段が最適か	○	
⑧最適な補助対象か	○	
<b>【有効性】</b>		
⑨補助金額に見合う効果が十分に期待できるか	○	
⑩目的や目標を適切に設定できているか	○	
<b>【公平性】</b>		
⑪その他の団体や市民との間で公平性が保たれているか	○	
⑫交付先や補助金額は公平に決められているか	○	

補助金名称	すその夏まつり補助金	担当課名	商工観光課
-------	------------	------	-------

### (5) ガイドラインの見直しの視点

評価項目	適否	(△・×の場合のみ記入)理由と今後の対応
①補助金の終期を設定しているか	×	事業の終了をもって廃止を検討
②積算基準は定められているか (前年踏襲になっていないか)	×	定めがない
③補助要綱で補助対象となる経費が明確になっているか	○	
④補助対象経費に懇親会費、交際費、積立金等の補助対象として適当でない経費が含まれていないか	○	
⑤補助率の上限が、補助対象経費の2分の1以内になっているか	×	自主財源の増額を促す
⑥繰越金・積立金・余剰金・内部留保の額は適切か	○	
⑦類似した補助金はないか	○	
⑧自主財源の確保に努めているか (最低でも前年度の収入を確保しているか)	○	
⑨再補助(交付先が再補助)はないか	○	
⑩履行確認は、適切にできているか	○	

### (6) 補助効果の検証

1補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	来客消費による商業者の売上増と市民のコミュニティの創出
2達成状況	年々来場者が増加し、賑わいが増し、経済効果も大きい

3補助効果の評価	a十分効果をあげている
4評価の理由	市民に定着し、盛り上がっている

### (7) 今後の方向性

今後の方向性	b見直した上で継続		
「a現行のまま継続」の場合		「b見直した上で継続」の場合	
継続の理由		見直しの内容	事業規模について関係者で検討するとともに、自主財源の増額(出店者や利用者負担)等を検討する。
		見直しの時期	H29
「c廃止する」の場合		「dその他」の場合	
廃止の理由		その他の内容	
廃止の時期			

# 補助金チェックシート

## (1) 補助の内容

作成年度 28 年度

1 補助金名称	富士山国際雪合戦大会補助金				2 担当課名	商工観光課		
3 予算科目	款	7	項	1	目	3	事業コード	0720
4 現在考えている事業期間	終期設定の有無		無					
	開始	H7	年度	～	終期(予定)	—	年度	(終期設定有の場合のみ)
5 根拠例規の有無	有	例規名称 裾野市産業に関する補助金交付要綱						
6 性質別分類①	d市単独助成				7 性質別分類②	b事業費補助		
8 交付先分類	c特定団体(その他)							
9 交付先	富士山国際雪合戦実行委員会							
10 補助金の目的	国際的に発展性のあるスポーツイベントの開催による、地域振興及び郷土愛の育成							
11 補助金により期待される効果・目標(アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	参加チーム数							
12 補助対象者・団体等が補助金で行う活動	富士山国際雪合戦大会の開催							
13 積算根拠の有無	無							
14 積算の考え方 計算式	要望額を踏まえ決定							
15 補助対象経費の設定の有無	無							
16 補助対象経費の内容	交際費		慶弔費		飲食費		懇親会費	積立金
その他補助対象の項目								
17 団体等の構成員数	26 年度	27 年度	補足					
団体								
人数								
18 市の補助金の財源	決算		予算		(千円)			
	26 年度	27 年度	28 年度	補足				
国・県支出金	0	0	0					
その他補助金	0	0	0					
一般財源	0	2,000	2,000					
合計	0	2,000	2,000					
19 団体・事業の財務内容	26 年度	27 年度	補足					
補助金 助成金	市	0	2,000	H26開催中止、H28開催未定				
	その他	0	0					
事業収入	0	975						
会費	0	0						
繰越金	0	0						
その他	0	43						
合計	0	3,018						
市の補助金の割合		66%						

補助金名称	富士山国際雪合戦大会補助金	担当課名	商工観光課
-------	---------------	------	-------

## (2)直近の見直しの状況(過去5年間)

1見直しの有無	無	→	2見直した年度	H28	年度
3内容	財政基盤強化のため増額				

## (3)基本的な視点からの評価

評価項目及び視点	適否	(△・×の場合のみ記入)理由・説明
<b>【必要性】</b>		
①目的・内容に、補助を行うに足りる公益性が認められるか	○	
②補助金目的が、開始時点と比べて希薄化していないか	○	
③広く市民生活の向上に貢献するか	△	愛好家のための事業となっている
④市民ニーズが高い事業か	△	参加者観戦者の数からみてニーズが高いと言えない
⑤補助金で行われている活動に対して、市が関与する必要性があるか	○	
⑥市が補助金を支出しなかった場合、多大なマイナスの影響があるか(ある→○、ない→×)	△	事業の規模縮小、廃止につながる
<b>【妥当性】</b>		
⑦直接執行や委託等ではなく、補助金という手段が最適か	○	
⑧最適な補助対象か	○	
<b>【有効性】</b>		
⑨補助金額に見合う効果が十分に期待できるか	△	
⑩目的や目標を適切に設定できているか	○	
<b>【公平性】</b>		
⑪その他の団体や市民との間で公平性が保たれているか	△	参加人数に対して補助額多い
⑫交付先や補助金額は公平に決められているか	○	

補助金名称	富士山国際雪合戦大会補助金	担当課名	商工観光課
-------	---------------	------	-------

### (5) ガイドラインの見直しの視点

評価項目	適否	(△・×の場合のみ記入)理由と今後の対応
①補助金の終期を設定しているか	×	事業の廃止をもって検討する
②積算基準は定められているか (前年踏襲になっていないか)	×	定めがない
③補助要綱で補助対象となる経費が明確になっているか	○	
④補助対象経費に懇親会費、交際費、積立金等の補助対象として適当でない経費が含まれていないか	○	
⑤補助率の上限が、補助対象経費の2分の1以内になっているか	×	参加者負担金等自主財源の増額を促す
⑥繰越金・積立金・余剰金・内部留保の額は適切か	○	
⑦類似した補助金はないか	○	
⑧自主財源の確保に努めているか (最低でも前年度の収入を確保しているか)	△	参加者負担金等の自主財源の増額を促す
⑨再補助(交付先が再補助)はないか	○	
⑩履行確認は、適切にできているか	○	

### (6) 補助効果の検証

1補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	参加チーム数
2達成状況	TV等に取り上げられ、一定の効果があるが、費用対効果が問われる

3補助効果の評価	c効果が疑問である
4評価の理由	費用対効果の検証に疑問がある

### (7) 今後の方向性

今後の方向性	dその他		
「a現行のまま継続」の場合		「b見直した上で継続」の場合	
継続の理由		見直しの内容	
		見直しの時期	
「c廃止する」の場合		「dその他」の場合	
廃止の理由		その他の内容	補助交付先と協議する。
廃止の時期			

# 補助金チェックシート

## (1) 補助の内容

作成年度 28 年度

1補助金名称	もののふの里補助金				2担当課名	商工観光課					
3予算科目	款	7	項	1	目	3	事業コード	0720			
4現在考えている事業期間	終期設定の有無		無		開始		H17以前	年度 ~ 終期(予定)	—	年度	(終期設定有の場合のみ)
5根拠例規の有無	有		例規名称		裾野市産業に関する補助金交付要綱						
6性質別分類①	d市単独助成				7性質別分類②	b事業費補助					
8交付先分類	c特定団体(その他)										
9交付先	もののふの里まつり実行委員会										
10補助金の目的	歴史遺産の再認識による地域振興及び郷土愛の醸成										
11補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	歴史遺産の再認識										
12補助対象者・団体等が補助金で行う活動	もののふの里まつりの開催										
13積算根拠の有無	無										
14積算の考え方 計算式	要望額を踏まえ決定										
15補助対象経費の設定の有無	無										
16補助対象経費の内容	交際費		慶弔費		飲食費		懇親会費		積立金		
その他補助対象の項目											
17団体等の構成員数	26 年度	27 年度	補足								
団体											
人数											
18市の補助金の財源	決算		予算		(千円)						
	26 年度	27 年度	28 年度	補足							
国・県支出金	0	0	0								
その他補助金	0	0	0								
一般財源	300	300	200								
合計	300	300	200								
19団体・事業の財務内容	26 年度	27 年度	補足								
補助金	市	300	300								
助成金	その他	335	340								
事業収入	0	0									
会費	0	0									
繰越金	20	0									
その他	0	19									
合計	655	659									
市の補助金の割合	46%	46%									

補助金名称	もののふの里補助金	担当課名	商工観光課
-------	-----------	------	-------

### (2)直近の見直しの状況(過去5年間)

1見直しの有無	有	→	2見直した年度	28	年度
3内容	2/3に削減。				

### (3)基本的な視点からの評価

評価項目及び視点	適否	(△・×の場合のみ記入)理由・説明
<b>【必要性】</b>		
①目的・内容に、補助を行うに足りる公益性が認められるか	△	観光費に計上することが適当か?
②補助金目的が、開始時点と比べて希薄化していないか	△	観光の色彩が薄れている
③広く市民生活の向上に貢献するか	△	特定の地域のイベントとなっている
④市民ニーズが高い事業か	△	特定の地域のイベントとなっており市民ニーズが高いと言えない
⑤補助金で行われている活動に対して、市が関与する必要性があるか	△	観光費事業として関与することに疑問がある
⑥市が補助金を支出しなかった場合、多大なマイナスの影響があるか(ある→○、ない→×)	△	イベント規模の縮小で対応
<b>【妥当性】</b>		
⑦直接執行や委託等ではなく、補助金という手段が最適か	○	
⑧最適な補助対象か	○	
<b>【有効性】</b>		
⑨補助金額に見合う効果が十分に期待できるか	△	
⑩目的や目標を適切に設定できているか	△	
<b>【公平性】</b>		
⑪その他の団体や市民との間で公平性が保たれているか	×	市民協働推進事業に移管を検討
⑫交付先や補助金額は公平に決められているか	○	

補助金名称	もののふの里補助金	担当課名	商工観光課
-------	-----------	------	-------

### (5) ガイドラインの見直しの視点

評価項目	適否	(△・×の場合のみ記入)理由と今後の対応
①補助金の終期を設定しているか	×	事業の廃止をもって廃止を検討
②積算基準は定められているか (前年踏襲になっていないか)	×	定めがない
③補助要綱で補助対象となる経費が明確になっているか	○	
④補助対象経費に懇親会費、交際費、積立金等の補助対象として適当でない経費が含まれていないか	○	
⑤補助率の上限が、補助対象経費の2分の1以内になっているか	○	
⑥繰越金・積立金・余剰金・内部留保の額は適切か	○	
⑦類似した補助金はないか	×	裾野市パートナーシップ事業補助金
⑧自主財源の確保に努めているか (最低でも前年度の収入を確保しているか)	△	自主財源の増額を促す
⑨再補助(交付先が再補助)はないか	○	
⑩履行確認は、適切にできているか	○	

### (6) 補助効果の検証

1補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	歴史遺産の再認識
2達成状況	継続的に開催されているが、フェスタ裾野と日程が重なるなど集客力に劣る

3補助効果の評価	c効果が疑問である
4評価の理由	観光振興の事業となっていない

### (7) 今後の方向性

今後の方向性	c廃止する		
「a現行のまま継続」の場合		「b見直した上で継続」の場合	
継続の理由		見直しの内容	
		見直しの時期	
「c廃止する」の場合		「dその他」の場合	
廃止の理由	地域振興のイベントであり、市民協働室のパートナーシップ事業の中で対応する方向で調整する	その他の内容	
廃止の時期	H28		

# 補助金チェックシート

## (1) 補助の内容

作成年度 28 年度

1 補助金名称	市消費者団体協議会補助金				2 担当課名	商工観光課	
3 予算科目	款	7	項	1	目	4	事業コード 0731
4 現在考えている事業期間	終期設定の有無		無				
	開始	H17以前	年度	～	終期(予定)	—	年度 (終期設定有の場合のみ)
5 根拠例規の有無	有		例規名称 裾野市産業に関する補助金交付要綱				
6 性質別分類①	d市単独助成			7 性質別分類②	a運営費補助		
8 交付先分類	b特定団体(市事務局)						
9 交付先	裾野市消費者団体協議会						
10 補助金の目的	関係団体の連携により消費生活の安定と向上を図る						
11 補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	消費生活に対する意識の啓発						
12 補助対象者・団体等が補助金で行う活動	消費生活関係研修会等の開催						
13 積算根拠の有無	無						
14 積算の考え方 計算式	要望額を踏まえ決定						
15 補助対象経費の設定の有無	無						
16 補助対象経費の内容	交際費		慶弔費		飲食費	懇親会費	積立金
その他補助対象の項目							
17 団体等の構成員数	26 年度	27 年度	補足				
団体	3	3	会員団体数				
人数							
18 市の補助金の財源	決算		予算	(千円)			
	26 年度	27 年度	28 年度	補足			
国・県支出金	0	0	0				
その他補助金	0	0	0				
一般財源	198	198	198				
合計	198	198	198				
19 団体・事業の財務内容	26 年度	27 年度	補足				
補助金 助成金	市	198	198				
	その他	0	0				
事業収入	31	13					
会費	15	15					
繰越金	17	39					
その他	1	2					
合計	262	267					
市の補助金の割合	76%	74%					

補助金名称	市消費者団体協議会補助金	担当課名	商工観光課
-------	--------------	------	-------

(2)直近の見直しの状況(過去5年間)

1見直しの有無	無	→	2見直した年度	年度
3内容				

(3)基本的な視点からの評価

評価項目及び視点	適否	(△・×の場合のみ記入)理由・説明
<b>【必要性】</b>		
①目的・内容に、補助を行うに足りる公益性が認められるか	○	
②補助金目的が、開始時点と比べて希薄化していないか	○	
③広く市民生活の向上に貢献するか	○	
④市民ニーズが高い事業か	○	
⑤補助金で行われている活動に対して、市が関与する必要性があるか	○	
⑥市が補助金を支出しなかった場合、多大なマイナスの影響があるか (ある→○、ない→×)	○	
<b>【妥当性】</b>		
⑦直接執行や委託等ではなく、補助金という手段が最適か	○	
⑧最適な補助対象か	○	
<b>【有効性】</b>		
⑨補助金額に見合う効果が十分に期待できるか	○	
⑩目的や目標を適切に設定できているか	○	
<b>【公平性】</b>		
⑪その他の団体や市民との間で公平性が保たれているか	○	
⑫交付先や補助金額は公平に決められているか	○	

補助金名称	市消費者団体協議会補助金	担当課名	商工観光課
-------	--------------	------	-------

### (5) ガイドラインの見直しの視点

評価項目	適否	(△・×の場合のみ記入)理由と今後の対応
①補助金の終期を設定しているか	×	当分の間継続する
②積算基準は定められているか (前年踏襲になっていないか)	×	定めがない
③補助要綱で補助対象となる経費が明確になっているか	○	
④補助対象経費に懇親会費、交際費、積立金等の補助対象として適当でない経費が含まれていないか	○	
⑤補助率の上限が、補助対象経費の2分の1以内になっているか	○	
⑥繰越金・積立金・余剰金・内部留保の額は適切か	○	
⑦類似した補助金はないか	○	
⑧自主財源の確保に努めているか (最低でも前年度の収入を確保しているか)	△	自主財源の増額を促す
⑨再補助(交付先が再補助)はないか	×	会員団体へ補助
⑩履行確認は、適切にできているか	○	

### (6) 補助効果の検証

1補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	消費生活に対する意識の啓発
2達成状況	市民を対象とする講座の開催するなど、啓発活動に取り組んでいる

3補助効果の評価	b一定の効果をあげている
4評価の理由	普及啓発活動が必要である

### (7) 今後の方向性

今後の方向性	a現行のまま継続		
「a現行のまま継続」の場合		「b見直した上で継続」の場合	
継続の理由	消費生活活動の普及啓発が必要である	見直しの内容	
		見直しの時期	
「c廃止する」の場合		「dその他」の場合	
廃止の理由		その他の内容	
廃止の時期			

# 補助金チェックシート

## (1) 補助の内容

作成年度 28 年度

1補助金名称	営農指導補助金(JA南駿北部営農経済センター)				2担当課名	農林振興課		
3予算科目	款	6	項	1	目	2	事業コード	0603
4現在考えている事業期間	終期設定の有無		無					
	開始	H17以前	年度	~	終期(予定)	—	年度	(終期設定有の場合のみ)
5根拠例規の有無	有	例規名称 裾野市農林業指導費及び振興補助金交付要綱						
6性質別分類①	d市単独助成				7性質別分類②	b事業費補助		
8交付先分類	c特定団体(その他)							
9交付先	JA南駿北部営農経済センター)							
10補助金の目的	市の農業振興に資する事業で、農業協同組合が実施する事業に対して費用の一部を補助する。							
11補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	農業協同組合と関連事業者との連携による営農環境改善や6次産業化等。							
12補助対象者・団体が補助金で行う活動	営農環境の改善や6次産業化に資する事業。							
13積算根拠の有無	無							
14積算の考え方 計算式	定額							
15補助対象経費の設定の有無	無							
16補助対象経費の内容	交際費		慶弔費		飲食費		懇親会費	積立金
その他補助対象の項目								
17団体等の構成員数	26 年度	27 年度	補足					
団体								
人数								
18市の補助金の財源	決算		予算		(千円)			
	26 年度	27 年度	28 年度	補足				
国・県支出金	0	0	0	H26、H27 利用実績なし				
その他補助金	0	0	0					
一般財源	0	0	100					
合計	0	0	100					
19団体・事業の財務内容	26 年度	27 年度	補足					
補助金			H26、H27 利用実績なし					
助成金								
市	0	0						
その他	0	0						
事業収入	0	0						
会費	0	0						
繰越金	0	0						
その他	0	0						
合計	0	0						
市の補助金の割合								

補助金名称	営農指導補助金(JA南駿北部営農経済センター)	担当課名	農林振興課
-------	-------------------------	------	-------

## (2)直近の見直しの状況(過去5年間)

1見直しの有無	無	→	2見直した年度	年度
3内容				

## (3)基本的な視点からの評価

評価項目及び視点	適否	(△・×の場合のみ記入)理由・説明
<b>【必要性】</b>		
①目的・内容に、補助を行うに足りる公益性が認められるか	△	補助対象事業が明確でなく、検証が困難。
②補助金目的が、開始時点と比べて希薄化していないか	△	補助対象事業が明確でなく、検証が困難。
③広く市民生活の向上に貢献するか	×	直接
④市民ニーズが高い事業か	×	補助対象事業が明確でなく、検証が困難。
⑤補助金で行われている活動に対して、市が関与する必要性があるか	×	農協が行う営利事業の一環であるため
⑥市が補助金を支出しなかった場合、多大なマイナスの影響があるか(ある→○、ない→×)	×	農家や農作物への多大な影響は想定されない。
<b>【妥当性】</b>		
⑦直接執行や委託等ではなく、補助金という手段が最適か	○	
⑧最適な補助対象か	×	営利活動を行う団体であるため。
<b>【有効性】</b>		
⑨補助金額に見合う効果が十分に期待できるか	△	
⑩目的や目標を適切に設定できているか	×	補助対象事業が明確でなく、設定不可。
<b>【公平性】</b>		
⑪その他の団体や市民との間で公平性が保たれているか	×	農協への補助に特化しており、公平性が保たれていない。
⑫交付先や補助金額は公平に決められているか	×	農協への補助に特化しており、公平性が保たれていない。

補助金名称	営農指導補助金(JA南駿北部営農経済センター)	担当課名	農林振興課
-------	-------------------------	------	-------

### (5) ガイドラインの見直しの視点

評価項目	適否	(△・×の場合のみ記入)理由と今後の対応
①補助金の終期を設定しているか	×	継続的な取り組みが必要な事業であり、終期は設定しない。
②積算基準は定められているか (前年踏襲になっていないか)	×	特定の事業を想定しておらず、積算不可。
③補助要綱で補助対象となる経費が明確になっているか	×	特定の事業を想定できないため、明確化が困難。
④補助対象経費に懇親会費、交際費、積立金等の補助対象として適当でない経費が含まれていないか	○	
⑤補助率の上限が、補助対象経費の2分の1以内になっているか	×	予算の範囲内
⑥繰越金・積立金・余剰金・内部留保の額は適切か	○	
⑦類似した補助金はないか	○	
⑧自主財源の確保に努めているか (最低でも前年度の収入を確保しているか)	○	
⑨再補助(交付先が再補助)はないか	○	
⑩履行確認は、適切にできているか	○	

### (6) 補助効果の検証

1補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	農業協同組合と関連事業者との連携による営農環境改善や6次産業化等。
2達成状況	有害鳥獣駆除装置(バリアトーン)の設置による農作物被害の軽減。

3補助効果の評価	c効果が疑問である
4評価の理由	過去2年間に補助実績がなく、事業を継続する理由が希薄である。

### (7) 今後の方向性

今後の方向性	c廃止する		
「a現行のまま継続」の場合		「b見直した上で継続」の場合	
継続の理由		見直しの内容	
		見直しの時期	
「c廃止する」の場合		「dその他」の場合	
廃止の理由	農協の営利事業の一環として実施すべき内容であるため。	その他の内容	
廃止の時期	H29		

# 補助金チェックシート

## (1) 補助の内容

作成年度 28年度

1補助金名称	農業用廃プラ処理費補助金				2担当課名	農林振興課		
3予算科目	款	6	項	1	目	2	事業コード	0603
4現在考えている事業期間	終期設定の有無		無					
	開始	H11	年度	～	終期(予定)	—	年度	(終期設定有の場合のみ)
5根拠例規の有無	有	例規名称	裾野市農業用廃プラスチック類処理事業費補助金交付要綱					
6性質別分類①	d市単独助成				7性質別分類②	b事業費補助		
8交付先分類	c特定団体(その他)							
9交付先	廃プラスチック適正処理推進委員会(南駿農業協同組合)							
10補助金の目的	農業用に使用され廃棄されるプラスチック類の処理に関する費用の一部を補助する。							
11補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	産業廃棄物としての適正処理と農家の負担軽減。							
12補助対象者・団体等が補助金で行う活動	産業廃棄物としての処理費の一部として活用。							
13積算根拠の有無	有							
14積算の考え方 計算式	予算の範囲内							
15補助対象経費の設定の有無	無							
16補助対象経費の内容	交際費		慶弔費		飲食費		懇親会費	積立金
その他補助対象の項目								
17団体等の構成員数	26年度	27年度	補足					
団体								
人数								
18市の補助金の財源	決算		予算		(千円)			
	26年度	27年度	28年度	補足				
国・県支出金	0	0	0					
その他補助金	0	0	0					
一般財源	50	50	50					
合計	50	50	50					
19団体・事業の財務内容	26年度	27年度	補足					
補助金			H28は未申請のため予算不明					
助成金								
市	50	50						
その他	0	0						
事業収入	0	0						
会費	0	0						
繰越金	0	0						
その他	102	141						
合計	152	191						
市の補助金の割合	33%	26%						

補助金名称	農業用廃プラ処理費補助金	担当課名	農林振興課
-------	--------------	------	-------

## (2)直近の見直しの状況(過去5年間)

1見直しの有無	無	→	2見直した年度	年度
3内容				

## (3)基本的な視点からの評価

評価項目及び視点	適否	(△・×の場合のみ記入)理由・説明
<b>【必要性】</b>		
①目的・内容に、補助を行うに足りる公益性が認められるか	○	
②補助金目的が、開始時点と比べて希薄化していないか	○	
③広く市民生活の向上に貢献するか	○	
④市民ニーズが高い事業か	○	
⑤補助金で行われている活動に対して、市が関与する必要性があるか	○	
⑥市が補助金を支出しなかった場合、多大なマイナスの影響があるか (ある→○、ない→×)	○	
<b>【妥当性】</b>		
⑦直接執行や委託等ではなく、補助金という手段が最適か	○	
⑧最適な補助対象か	○	
<b>【有効性】</b>		
⑨補助金額に見合う効果が十分に期待できるか	○	
⑩目的や目標を適切に設定できているか	○	
<b>【公平性】</b>		
⑪その他の団体や市民との間で公平性が保たれているか	○	
⑫交付先や補助金額は公平に決められているか	○	

補助金名称	農業用廃プラ処理費補助金	担当課名	農林振興課
-------	--------------	------	-------

### (5) ガイドラインの見直しの視点

評価項目	適否	(△・×の場合のみ記入)理由と今後の対応
①補助金の終期を設定しているか	×	継続的な取り組みが必要な事業であり、終期は設定しない。
②積算基準は定められているか (前年踏襲になっていないか)	×	目的が限定的であるため、基準を明確化する必要性は薄い。
③補助要綱で補助対象となる経費が明確になっているか	×	目的が限定的であるため、明確化する必要性は薄い。
④補助対象経費に懇親会費、交際費、積立金等の補助対象として適当でない経費が含まれていないか	○	
⑤補助率の上限が、補助対象経費の2分の1以内になっているか	○	
⑥繰越金・積立金・余剰金・内部留保の額は適切か	○	
⑦類似した補助金はないか	○	
⑧自主財源の確保に努めているか (最低でも前年度の収入を確保しているか)	○	
⑨再補助(交付先が再補助)はないか	○	
⑩履行確認は、適切にできているか	○	

### (6) 補助効果の検証

1補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	産業廃棄物としての適正処理と農家の負担軽減。
2達成状況	農家の負担する廃プラスチック処理料の引き下げ。

3補助効果の評価	b一定の効果をあげている
4評価の理由	農家の負担軽減に寄与している。

### (7) 今後の方向性

今後の方向性	a現行のまま継続		
「a現行のまま継続」の場合		「b見直した上で継続」の場合	
継続の理由	農業用産業廃棄物の適正処理と農業者の負担軽減の観点から必要と考えるため。	見直しの内容	
		見直しの時期	
「c廃止する」の場合		「dその他」の場合	
廃止の理由		その他の内容	
廃止の時期			

# 補助金チェックシート

## (1)補助の内容

作成年度 28年度

1補助金名称	残留農薬検査補助金				2担当課名	農林振興課		
3予算科目	款	6	項	1	目	2	事業コード	0603
4現在考えている事業期間	終期設定の有無		無					
	開始	不明	年度	～	終期(予定)	—	年度	(終期設定有の場合のみ)
5根拠例規の有無	有	例規名称 裾野市農林業指導費及び振興補助金交付要綱						
6性質別分類①	d市単独助成				7性質別分類②	b事業費補助		
8交付先分類	c特定団体(その他)							
9交付先	南駿農業協同組合							
10補助金の目的	食の安心安全を担保するため、市内で収穫された農作物及び農地の残留農薬検査を行う際の費用の一部を補助する。							
11補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	農作物の安心安全の確保と農地の環境保全。							
12補助対象者・団体等が補助金で行う活動	農作物及び農地の残留農薬検査に関する経費の一部として活用。							
13積算根拠の有無	有							
14積算の考え方 計算式	均等割(1行政)100千円 設置数割(1産直市あたり)200千円 会員数割(150人以上)100千円 売上金額割(2億円以上)100千円 検査数割(100点以上)100千円							
15補助対象経費の設定の有無	無							
16補助対象経費の内容	交際費		慶弔費		飲食費		懇親会費	積立金
その他補助対象の項目								
17団体等の構成員数	26年度	27年度	補足					
団体								
人数								
	決算		予算		(千円)			
18市の補助金の財源	26年度	27年度	28年度	補足				
国・県支出金	0	0	0					
その他補助金	0	0	0					
一般財源	600	600	600					
合計	600	600	600					
19団体・事業の財務内容	26年度	27年度	補足					
補助金	市	600	600	沼津市、長泉町、清水町との協調補助 利用者負担金、農協負担金あり				
助成金	その他	1,250	1,250					
事業収入	0	0						
会費	0	0						
繰越金	0	0						
その他	2,315	1,814						
合計	4,165	3,664						
市の補助金の割合	14%	16%						

補助金名称	残留農薬検査補助金	担当課名	農林振興課
-------	-----------	------	-------

## (2)直近の見直しの状況(過去5年間)

1見直しの有無	無	→	2見直した年度	年度
3内容				

## (3)基本的な視点からの評価

評価項目及び視点	適否	(△・×の場合のみ記入)理由・説明
<b>【必要性】</b>		
①目的・内容に、補助を行うに足りる公益性が認められるか	○	
②補助金目的が、開始時点と比べて希薄化していないか	○	
③広く市民生活の向上に貢献するか	○	
④市民ニーズが高い事業か	○	
⑤補助金で行われている活動に対して、市が関与する必要性があるか	△	自主流通農作物に対する検査が行き届かないため
⑥市が補助金を支出しなかった場合、多大なマイナスの影響があるか(ある→○、ない→×)	○	
<b>【妥当性】</b>		
⑦直接執行や委託等ではなく、補助金という手段が最適か	○	
⑧最適な補助対象か	△	事業者の責務において実施する事業内容であると考えられるため
<b>【有効性】</b>		
⑨補助金額に見合う効果が十分に期待できるか	○	
⑩目的や目標を適切に設定できているか	○	
<b>【公平性】</b>		
⑪その他の団体や市民との間で公平性が保たれているか	○	
⑫交付先や補助金額は公平に決められているか	○	

補助金名称	残留農薬検査補助金	担当課名	農林振興課
-------	-----------	------	-------

### (5) ガイドラインの見直しの視点

評価項目	適否	(△・×の場合のみ記入)理由と今後の対応
①補助金の終期を設定しているか	×	継続的な取り組みが必要な事業であり、終期は設定しない。
②積算基準は定められているか (前年踏襲になっていないか)	○	
③補助要綱で補助対象となる経費が明確になっているか	○	
④補助対象経費に懇親会費、交際費、積立金等の補助対象として適当でない経費が含まれていないか	○	
⑤補助率の上限が、補助対象経費の2分の1以内になっているか	△	上限設定はないが、実際は1/2以内になっている。
⑥繰越金・積立金・余剰金・内部留保の額は適切か	○	
⑦類似した補助金はないか	○	
⑧自主財源の確保に努めているか (最低でも前年度の収入を確保しているか)	○	
⑨再補助(交付先が再補助)はないか	○	
⑩履行確認は、適切にできているか	○	

### (6) 補助効果の検証

1補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	農作物の安心安全の確保と農地の環境保全。
2達成状況	毎月の農作物及び農地土壌の残留農薬検査の実施。

3補助効果の評価	b一定の効果をあげている
4評価の理由	食の安心安全を立証するデータとして活用されている。

### (7) 今後の方向性

今後の方向性	a現行のまま継続		
「a現行のまま継続」の場合		「b見直した上で継続」の場合	
継続の理由	周辺市町との協同補助事業であり、食の安心安全の観点からも必要であるため。	見直しの内容	
		見直しの時期	
「c廃止する」の場合		「dその他」の場合	
廃止の理由		その他の内容	
廃止の時期			

# 補助金チェックシート

## (1) 補助の内容

作成年度 28 年度

1 補助金名称	農作物等出展支援補助金				2 担当課名	農林振興課				
3 予算科目	款	6	項	1	目	2	事業コード	0603		
4 現在考えている事業期間	終期設定の有無		有							
	開始		H26	年度	～	終期(予定)	H31	年度	(終期設定有の場合のみ)	
5 根拠例規の有無	有		例規名称		裾野市農作物等出展事業補助金交付要綱					
6 性質別分類①	d市単独助成				7 性質別分類②	b事業費補助				
8 交付先分類	eその他									
9 交付先	市内に経営耕地を有する農家等									
10 補助金の目的	六次産業化や異業種交流を目的とした展示会等に出展する際の費用の一部を補助する。									
11 補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	市内産の農作物の販売増加と六次産業化の推進。									
12 補助対象者・団体等が補助金で行う活動	展示会や商談会への出展費やチラシ等に関する経費。									
13 積算根拠の有無	有									
14 積算の考え方 計算式	200,000円 × 2件									
15 補助対象経費の設定の有無	有									
16 補助対象経費の内容	交際費	×	慶弔費	×	飲食費	×	懇親会費	×	積立金	×
その他補助対象の項目										
17 団体等の構成員数	26 年度	27 年度	補足							
団体	—	—								
人数	—	—								
18 市の補助金の財源	決算		予算		(千円)					
	26 年度	27 年度	28 年度	補足						
国・県支出金	0	0	0							
その他補助金	0	0	0							
一般財源	0	0	400							
合計	0	0	400							
19 団体・事業の財務内容	26 年度	27 年度	補足							
補助金	市		0	0						
助成金	その他		0	0						
事業収入	0	0								
会費	0	0								
繰越金	0	0								
その他	0	0								
合計	0	0								
市の補助金の割合										

補助金名称	農作物等出展支援補助金	担当課名	農林振興課
-------	-------------	------	-------

### (2)直近の見直しの状況(過去5年間)

1見直しの有無	無	→	2見直した年度	年度
3内容				

### (3)基本的な視点からの評価

評価項目及び視点	適否	(△・×の場合のみ記入)理由・説明
<b>【必要性】</b>		
①目的・内容に、補助を行うに足りる公益性が認められるか	○	
②補助金目的が、開始時点と比べて希薄化していないか	○	
③広く市民生活の向上に貢献するか	○	
④市民ニーズが高い事業か	○	
⑤補助金で行われている活動に対して、市が関与する必要性があるか	○	
⑥市が補助金を支出しなかった場合、多大なマイナスの影響があるか (ある→○、ない→×)	○	
<b>【妥当性】</b>		
⑦直接執行や委託等ではなく、補助金という手段が最適か	○	
⑧最適な補助対象か	○	
<b>【有効性】</b>		
⑨補助金額に見合う効果が十分に期待できるか	○	
⑩目的や目標を適切に設定できているか	○	
<b>【公平性】</b>		
⑪その他の団体や市民との間で公平性が保たれているか	○	
⑫交付先や補助金額は公平に決められているか	○	

補助金名称	農作物等出展支援補助金	担当課名	農林振興課
-------	-------------	------	-------

### (5) ガイドラインの見直しの視点

評価項目	適否	(△・×の場合のみ記入)理由と今後の対応
①補助金の終期を設定しているか	○	
②積算基準は定められているか (前年踏襲になっていないか)	○	
③補助要綱で補助対象となる経費が明確になっているか	○	
④補助対象経費に懇親会費、交際費、積立金等の補助対象として適当でない経費が含まれていないか	○	
⑤補助率の上限が、補助対象経費の2分の1以内になっているか	○	
⑥繰越金・積立金・余剰金・内部留保の額は適切か	○	
⑦類似した補助金はないか	○	
⑧自主財源の確保に努めているか (最低でも前年度の収入を確保しているか)	○	
⑨再補助(交付先が再補助)はないか	○	
⑩履行確認は、適切にできているか	○	

### (6) 補助効果の検証

1補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	市内産の農作物の販売増加と6次産業化の推進。
2達成状況	展示会や商談会への出展人数、回数。

3補助効果の評価	b一定の効果をあげている
4評価の理由	28年度に活用事例あり。

### (7) 今後の方向性

今後の方向性	b見直した上で継続		
「a現行のまま継続」の場合		「b見直した上で継続」の場合	
継続の理由		見直しの内容	終期を設定し、効果の検証を行う。
		見直しの時期	
「c廃止する」の場合		「dその他」の場合	
廃止の理由		その他の内容	
廃止の時期			

# 補助金チェックシート

## (1) 補助の内容

作成年度 28 年度

1 補助金名称	中核農業者協議会補助金			2 担当課名	農林振興課				
3 予算科目	款	6	項	1	目	3	事業コード	0608	
4 現在考えている事業期間	終期設定の有無		無						
5 根拠例規の有無	有	例規名称		裾野市農林業指導費及び振興補助金交付要綱					
6 性質別分類①	d市単独助成			7 性質別分類②	a運営費補助				
8 交付先分類	c特定団体(その他)								
9 交付先	裾野市中核農業者協議会								
10 補助金の目的	裾野市中核農業者協議会の運営および実施事業に関する費用の一部を補助する。								
11 補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	農業まつりの円滑な開催・運営と農業者の資質向上。								
12 補助対象者・団体等が補助金で行う活動	生産品目による部会(12部会)の活動育成。農業まつりの運営費、視察研修費等の経費。								
13 積算根拠の有無	無								
14 積算の考え方 計算式	定額								
15 補助対象経費の設定の有無	無								
16 補助対象経費の内容	交際費		慶弔費		飲食費		懇親会費		積立金
その他補助対象の項目									
17 団体等の構成員数	26 年度	27 年度	補足						
団体	0	0							
人数	197	195							
18 市の補助金の財源	決算		予算		(千円)				
	26 年度	27 年度	28 年度	補足					
国・県支出金	0	0	0						
その他補助金	0	0	0						
一般財源	3,510	3,510	3,410						
合計	3,510	3,510	3,410						
19 団体・事業の財務内容	26 年度	27 年度	補足						
補助金 助成金	市	3,510	3,510						
	その他	2,200	2,200						
事業収入	250	250							
会費	420	420							
繰越金	193	389							
その他	81	291							
合計	6,654	7,060							
市の補助金の割合	53%	50%							

補助金名称	中核農業者協議会補助金	担当課名	農林振興課
-------	-------------	------	-------

## (2)直近の見直しの状況(過去5年間)

1見直しの有無	有	→	2見直した年度	27	年度
3内容	・平成26年度財政援助団体監査に伴う用途の一部見直し、金額変更。認定農業者協議会への補助金の廃止。				

## (3)基本的な視点からの評価

評価項目及び視点	適否	(△・×の場合のみ記入)理由・説明
<b>【必要性】</b>		
①目的・内容に、補助を行うに足りる公益性が認められるか	○	
②補助金目的が、開始時点と比べて希薄化していないか	○	
③広く市民生活の向上に貢献するか	○	
④市民ニーズが高い事業か	○	
⑤補助金で行われている活動に対して、市が関与する必要性があるか	○	
⑥市が補助金を支出しなかった場合、多大なマイナスの影響があるか (ある→○、ない→×)	○	
<b>【妥当性】</b>		
⑦直接執行や委託等ではなく、補助金という手段が最適か	○	
⑧最適な補助対象か	○	
<b>【有効性】</b>		
⑨補助金額に見合う効果が十分に期待できるか	○	
⑩目的や目標を適切に設定できているか	○	
<b>【公平性】</b>		
⑪その他の団体や市民との間で公平性が保たれているか	○	
⑫交付先や補助金額は公平に決められているか	○	

補助金名称	中核農業者協議会補助金	担当課名	農林振興課
-------	-------------	------	-------

### (5) ガイドラインの見直しの視点

評価項目	適否	(△・×の場合のみ記入)理由と今後の対応
①補助金の終期を設定しているか	×	継続的な取り組みが必要な事業であり、終期は設定しない。
②積算基準は定められているか (前年踏襲になっていないか)	×	用途、積算基準の明確化が必要。
③補助要綱で補助対象となる経費が明確になっているか	×	組織運営のために真に必要な経費を明確化する必要がある。
④補助対象経費に懇親会費、交際費、積立金等の補助対象として適当でない経費が含まれていないか	○	
⑤補助率の上限が、補助対象経費の2分の1以内になっているか	×	予算の範囲内
⑥繰越金・積立金・余剰金・内部留保の額は適切か	○	
⑦類似した補助金はないか	○	
⑧自主財源の確保に努めているか (最低でも前年度の収入を確保しているか)	○	
⑨再補助(交付先が再補助)はないか	○	
⑩履行確認は、適切にできているか	○	

### (6) 補助効果の検証

1補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	農業まつりの円滑な開催・運営と農業者の資質向上。
2達成状況	農業まつりへの来場者数の維持。

3補助効果の評価	b一定の効果をあげている
4評価の理由	農業まつり開催による市内農作物PRと部会活動による農業者の資質向上に寄与している。

### (7) 今後の方向性

今後の方向性	b見直した上で継続		
「a現行のまま継続」の場合		「b見直した上で継続」の場合	
継続の理由		見直しの内容	農業まつりの継続開催および部会組織の支援に必要であるため。
		見直しの時期	
「c廃止する」の場合		「dその他」の場合	
廃止の理由		その他の内容	
廃止の時期			

# 補助金チェックシート

## (1) 補助の内容

作成年度 28 年度

1 補助金名称	認定農業者協議会補助金			2 担当課名	農林振興課				
3 予算科目	款	6	項	1	目	3	事業コード	0608	
4 現在考えている事業期間	終期設定の有無		有						
5 根拠例規の有無	有	例規名称		裾野市農林業指導費及び振興補助金交付要綱					
6 性質別分類①	d市単独助成			7 性質別分類②	a運営費補助				
8 交付先分類	c特定団体(その他)								
9 交付先	裾野市認定農業者協議会								
10 補助金の目的	裾野市認定農業者協議会の運営に関する費用の一部を補助する。								
11 補助金により期待される効果・目標(アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	担い手の育成支援と情報共有。								
12 補助対象者・団体が補助金で行う活動	視察研修費、農業体験等。								
13 積算根拠の有無	無								
14 積算の考え方 計算式	予算の範囲内								
15 補助対象経費の設定の有無	無								
16 補助対象経費の内容	交際費		慶弔費		飲食費		懇親会費		積立金
その他補助対象の項目									
17 団体等の構成員数	26 年度	27 年度	補足						
団体	0	0							
人数	20	24							
18 市の補助金の財源	決算		予算	(千円)					
	26 年度	27 年度	28 年度	補足					
国・県支出金	0	0	0						
その他補助金	0	0	0						
一般財源	150	150	320						
合計	150	150	320						
19 団体・事業の財務内容	26 年度	27 年度	補足						
補助金									
助成金									
市	150	150							
その他	110	110							
事業収入	0	0							
会費	39	62							
繰越金	284	277							
その他	1	1							
合計	584	600							
市の補助金の割合	26%	25%							

補助金名称	認定農業者協議会補助金	担当課名	農林振興課
-------	-------------	------	-------

## (2)直近の見直しの状況(過去5年間)

1見直しの有無	有	→	2見直した年度	27	年度
3内容					

## (3)基本的な視点からの評価

評価項目及び視点	適否	(△・×の場合のみ記入)理由・説明
<b>【必要性】</b>		
①目的・内容に、補助を行うに足りる公益性が認められるか	○	
②補助金目的が、開始時点と比べて希薄化していないか	○	
③広く市民生活の向上に貢献するか	○	
④市民ニーズが高い事業か	○	
⑤補助金で行われている活動に対して、市が関与する必要性があるか	○	
⑥市が補助金を支出しなかった場合、多大なマイナスの影響があるか (ある→○、ない→×)	○	
<b>【妥当性】</b>		
⑦直接執行や委託等ではなく、補助金という手段が最適か	○	
⑧最適な補助対象か	○	
<b>【有効性】</b>		
⑨補助金額に見合う効果が十分に期待できるか	○	
⑩目的や目標を適切に設定できているか	○	
<b>【公平性】</b>		
⑪その他の団体や市民との間で公平性が保たれているか	○	
⑫交付先や補助金額は公平に決められているか	○	

補助金名称	認定農業者協議会補助金	担当課名	農林振興課
-------	-------------	------	-------

### (5) ガイドラインの見直しの視点

評価項目	適否	(△・×の場合のみ記入)理由と今後の対応
①補助金の終期を設定しているか	×	継続的な取り組みが必要な事業であり、終期は設定しない。
②積算基準は定められているか (前年踏襲になっていないか)	×	用途、積算基準の明確化が必要。
③補助要綱で補助対象となる経費が明確になっているか	×	組織運営のために真に必要な経費を明確化する必要がある。
④補助対象経費に懇親会費、交際費、積立金等の補助対象として適当でない経費が含まれていないか	○	
⑤補助率の上限が、補助対象経費の2分の1以内になっているか	×	予算の範囲内
⑥繰越金・積立金・余剰金・内部留保の額は適切か	○	
⑦類似した補助金はないか	○	
⑧自主財源の確保に努めているか (最低でも前年度の収入を確保しているか)	○	
⑨再補助(交付先が再補助)はないか	○	
⑩履行確認は、適切にできているか	○	

### (6) 補助効果の検証

1補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	担い手の育成支援と情報共有。
2達成状況	認定農業者数の増加。

3補助効果の評価	a十分効果をあげている
4評価の理由	担い手である認定農業者数の増加及び資質向上に寄与している。

### (7) 今後の方向性

今後の方向性	a現行のまま継続		
「a現行のまま継続」の場合		「b見直した上で継続」の場合	
継続の理由	担い手組織として支援が必要であるため。	見直しの内容	
		見直しの時期	
「c廃止する」の場合		「dその他」の場合	
廃止の理由		その他の内容	
廃止の時期			

# 補助金チェックシート

## (1) 補助の内容

作成年度 28 年度

1補助金名称	耕作放棄地緊急対策事業費補助金			2担当課名	農林振興課			
3予算科目	款	6	項	1	目	3	事業コード	0608
4現在考えている事業期間	終期設定の有無		有					
	開始	H24	年度	～	終期(予定)	H31	年度	(終期設定有の場合のみ)
5根拠例規の有無	有	例規名称	裾野市耕作放棄地緊急対策事業費補助金交付要綱					
6性質別分類①	b(市の上乗せあり)国・県の制度との連動			7性質別分類②	b事業費補助			
8交付先分類	d不特定団体及び個人							
9交付先	裾野市担い手育成総合支援協議会							
10補助金の目的	耕作放棄地の減少及び有効利用を図る事業に関する費用の一部を補助する。							
11補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	耕作放棄地の減少。							
12補助対象者・団体等が補助金で行う活動	耕作放棄地を農地に転換させる際に必要な草刈や土作り、作付等に関する事業。							

13積算根拠の有無	有							
14積算の考え方 計算式	10aあたり2.5万円×140a							
15補助対象経費の設定の有無	無							
16補助対象経費の内容	交際費		慶弔費		飲食費		懇親会費	積立金
その他補助対象の項目								

17団体等の構成員数	26 年度	27 年度	補足
団体			
人数			

18市の補助金の財源	決算		予算	(千円)
	26 年度	27 年度	28 年度	
国・県支出金	0	0	0	補足
その他補助金	0	0	0	
一般財源	160	183	350	
合計	160	183	350	

19団体・事業の財務内容	26 年度	27 年度	補足
補助金			
助成金			
市	160	183	
その他	480	547	
事業収入	0	0	
会費	0	0	
繰越金	0	0	
その他	0	0	
合計	0	0	
市の補助金の割合	0	0	

補助金名称	耕作放棄地緊急対策事業費補助金	担当課名	農林振興課
-------	-----------------	------	-------

## (2)直近の見直しの状況(過去5年間)

1見直しの有無	無	→	2見直した年度	年度
3内容				

## (3)基本的な視点からの評価

評価項目及び視点	適否	(△・×の場合のみ記入)理由・説明
<b>【必要性】</b>		
①目的・内容に、補助を行うに足りる公益性が認められるか	○	
②補助金目的が、開始時点と比べて希薄化していないか	○	
③広く市民生活の向上に貢献するか	○	
④市民ニーズが高い事業か	○	
⑤補助金で行われている活動に対して、市が関与する必要性があるか	○	
⑥市が補助金を支出しなかった場合、多大なマイナスの影響があるか (ある→○、ない→×)	○	
<b>【妥当性】</b>		
⑦直接執行や委託等ではなく、補助金という手段が最適か	○	
⑧最適な補助対象か	○	
<b>【有効性】</b>		
⑨補助金額に見合う効果が十分に期待できるか	○	
⑩目的や目標を適切に設定できているか	○	
<b>【公平性】</b>		
⑪その他の団体や市民との間で公平性が保たれているか	○	
⑫交付先や補助金額は公平に決められているか	○	

補助金名称	耕作放棄地緊急対策事業費補助金	担当課名	農林振興課
-------	-----------------	------	-------

### (5) ガイドラインの見直しの視点

評価項目	適否	(△・×の場合のみ記入)理由と今後の対応
①補助金の終期を設定しているか	○	要綱に規定。
②積算基準は定められているか (前年踏襲になっていないか)	○	
③補助要綱で補助対象となる経費が明確 になっているか	○	
④補助対象経費に懇親会費、交際費、積立金等の 補助対象として適当でない経費が含まれていないか	○	
⑤補助率の上限が、補助対象経費の2分 の1以内になっているか	○	国・県との協調補助により市補助率1/4
⑥繰越金・積立金・余剰金・内部留保の額 は適切か	○	
⑦類似した補助金はないか	○	
⑧自主財源の確保に努めているか (最低でも前年度の収入を確保しているか)	○	
⑨再補助(交付先が再補助)はないか	○	
⑩履行確認は、適切にできているか	○	

### (6) 補助効果の検証

1補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	耕作放棄地の減少。
2達成状況	耕作放棄地の継続的な減少。

3補助効果の評価	b一定の効果をあげている
4評価の理由	耕作放棄地の減少に成果を上げている。

### (7) 今後の方向性

今後の方向性	a現行のまま継続		
「a現行のまま継続」の場合		「b見直した上で継続」の場合	
継続の理由	国・県との協調補助であり、耕作放棄地の減少・解消に必要であるため。	見直しの内容	
		見直しの時期	
「c廃止する」の場合		「dその他」の場合	
廃止の理由		その他の内容	
廃止の時期			

# 補助金チェックシート

## (1) 補助の内容

作成年度 28 年度

1 補助金名称	裾野市東富士演習場裾野地区対策委員会補助金				2 担当課名	渉外課						
3 予算科目	款	6	項	3	目	1	事業コード	0676				
4 現在考えている事業期間	終期設定の有無		無									
	開始	S44	年度	～	終期(予定)	—	年度	(終期設定有の場合のみ)				
5 根拠例規の有無	有		例規名称		裾野市東富士演習場裾野地区対策委員会補助金交付要綱							
6 性質別分類①	d市単独助成				7 性質別分類②	a運営費補助						
8 交付先分類	b特定団体(市事務局)											
9 交付先	東富士演習場裾野地区対策委員会											
10 補助金の目的	東富士演習場裾野地区対策委員会に対し補助金を交付することで、東富士演習場地域における関係住民の生活の安定及び向上を図る。											
11 補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	東富士演習場関係住民の民生安定と生活向上											
12 補助対象者・団体等が補助金で行う活動	会議、基地問題研究のための視察研修											
13 積算根拠の有無	無											
14 積算の考え方 計算式	予算の範囲内											
15 補助対象経費の設定の有無	有											
16 補助対象経費の内容	交際費		慶弔費		飲食費		懇親会費		積立金			
その他補助対象の項目	対策委員会の事業遂行のための会議及び作業に係る経費 基地問題の研究に必要な研修に係る経費											
17 団体等の構成員数	26 年度	27 年度	補足									
団体	1	1										
人数												
18 市の補助金の財源	決算		予算		(千円)							
	26 年度	27 年度	28 年度	補足								
国・県支出金	0	0	0									
その他補助金	0	0	0									
一般財源	2,050	1,800	1,800									
合計	2,050	1,800	1,800									
19 団体・事業の財務内容	26 年度	27 年度	補足									
補助金 助成金	市	2,050	1,800	その他収入は個人負担金である								
	その他	0	0									
事業収入	0	0										
会費	0	0										
繰越金	1,231	324										
その他	2,621	1,201										
合計	5,902	3,325										
市の補助金の割合	35%	54%										

補助金名称	裾野市東富士演習場裾野地区対策委員会補助金	担当課名	渉外課
-------	-----------------------	------	-----

## (2)直近の見直しの状況(過去5年間)

1見直しの有無	有	→	2見直した年度	H28.3	年度
3内容	要綱の作成				

## (3)基本的な視点からの評価

評価項目及び視点	適否	(△・×の場合のみ記入)理由・説明
<b>【必要性】</b>		
①目的・内容に、補助を行うに足りる公益性が認められるか	○	
②補助金目的が、開始時点と比べて希薄化していないか	○	
③広く市民生活の向上に貢献するか	○	
④市民ニーズが高い事業か	○	
⑤補助金で行われている活動に対して、市が関与する必要性があるか	○	
⑥市が補助金を支出しなかった場合、多大なマイナスの影響があるか (ある→○、ない→×)	○	
<b>【妥当性】</b>		
⑦直接執行や委託等ではなく、補助金という手段が最適か	○	
⑧最適な補助対象か	○	
<b>【有効性】</b>		
⑨補助金額に見合う効果が十分に期待できるか	○	
⑩目的や目標を適切に設定できているか	○	
<b>【公平性】</b>		
⑪その他の団体や市民との間で公平性が保たれているか	○	
⑫交付先や補助金額は公平に決められているか	○	

補助金名称	裾野市東富士演習場裾野地区対策委員会補助金	担当課名	渉外課
-------	-----------------------	------	-----

### (5) ガイドラインの見直しの視点

評価項目	適否	(△・×の場合のみ記入)理由と今後の対応
①補助金の終期を設定しているか	×	委員会の事業に終期がない
②積算基準は定められているか (前年踏襲になっていないか)	×	補助金の額は予算の範囲内において市長が適当と認めた額
③補助要綱で補助対象となる経費が明確になっているか	○	
④補助対象経費に懇親会費、交際費、積立金等の補助対象として適当でない経費が含まれていないか	○	
⑤補助率の上限が、補助対象経費の2分の1以内になっているか	×	補助率の上限は定められていないが、おおむね2分の1の範囲内となっている
⑥繰越金・積立金・余剰金・内部留保の額は適切か	○	
⑦類似した補助金はないか	○	
⑧自主財源の確保に努めているか (最低でも前年度の収入を確保しているか)	○	
⑨再補助(交付先が再補助)はないか	○	
⑩履行確認は、適切にできているか	○	

### (6) 補助効果の検証

1補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	東富士演習場関係住民の民生安定と生活向上
2達成状況	対策委員の活動が円滑に行われている

3補助効果の評価	b一定の効果をあげている
4評価の理由	活動に必要な会議、視察研修が行われている

### (7) 今後の方向性

今後の方向性	a現行のまま継続		
「a現行のまま継続」の場合		「b見直した上で継続」の場合	
継続の理由	現行の状態の問題なく事業が行われているため	見直しの内容	
		見直しの時期	
「c廃止する」の場合		「dその他」の場合	
廃止の理由		その他の内容	
廃止の時期			

# 補助金チェックシート

## (1) 補助の内容

作成年度 28年度

1補助金名称	裾野市企業立地促進事業費補助金				2担当課名	渉外課	
3予算科目	款	7	項	1	目	2	事業コード 0711
4現在考えている事業期間	終期設定の有無		無				
	開始	H16	年度	～	終期(予定)	—	年度 (終期設定有の場合のみ)
5根拠例規の有無	有	例規名称 裾野市企業立地促進事業費補助金交付要綱					
6性質別分類①	b(市の上乗せあり)国・県の制度との連動				7性質別分類②	b事業費補助	
8交付先分類	d不特定団体及び個人						
9交付先	企業等						
10補助金の目的	市内において企業が行う企業立地促進事業に補助金を交付することで産業の高度化、活性化、雇用の創出を図り、もって企業の立地維持、新規立地の促進を狙う。						
11補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	市内での企業の新規立地及び立地維持による雇用の場の創出と産業の活性化併せて 税収の確保						
12補助対象者・団体等が補助金で行う活動	企業活動に係る土地、建物、機械設備等の取得等						

13積算根拠の有無	有						
14積算の考え方 計算式	用地取得費の一部(20～40%)を補助。 市内居住新規雇用者1人当たり50万円を補助。 建物・機械設備の取得費の一部(3.5～5%)を補助。 ※事業開始時期により適用要綱が変わるため、事業により補助率が変動する。						

15補助対象経費の設定の有無	有								
16補助対象経費の内容	交際費		慶弔費		飲食費		懇親会費		積立金
その他補助対象の項目	土地、建物、機械設備の取得経費等								

17団体等の構成員数	26年度	27年度	補足
団体	—	—	
人数	—	—	

18市の補助金の財源	決算		予算	(千円)
	26年度	27年度	28年度	
国・県支出金	500	0	22,150	補足
その他補助金	0	0	0	
一般財源	52,388	8,758	39,650	
合計	52,888	8,758	61,800	

19団体・事業の財務内容	26年度	27年度	補足
補助金	0	0	
助成金	0	0	
市	0	0	
その他	0	0	
事業収入	0	0	
会費	0	0	
繰越金	0	0	
その他	0	0	
合計	0	0	
市の補助金の割合	0	0	

補助金名称	裾野市企業立地促進事業費補助金	担当課名	渉外課
-------	-----------------	------	-----

## (2)直近の見直しの状況(過去5年間)

1見直しの有無	有	→	2見直した年度	H26.7	年度
3内容	補助率、限度額の見直し				

## (3)基本的な視点からの評価

評価項目及び視点	適否	(△・×の場合のみ記入)理由・説明
<b>【必要性】</b>		
①目的・内容に、補助を行うに足りる公益性が認められるか	○	企業の立地維持、新規立地促進
②補助金目的が、開始時点と比べて希薄化していないか	○	
③広く市民生活の向上に貢献するか	○	税収効果、雇用の創出
④市民ニーズが高い事業か	○	企業要望は高い
⑤補助金で行われている活動に対して、市が関与する必要性があるか	○	投資実績に対しての補助である。
⑥市が補助金を支出しなかった場合、多大なマイナスの影響があるか(ある→○、ない→×)	○	他市町、他県へ立地が行われる可能性が高まる。
<b>【妥当性】</b>		
⑦直接執行や委託等ではなく、補助金という手段が最適か	○	
⑧最適な補助対象か	○	市内企業の操業に係る土地、建物、機械設備等の取得に関する経費
<b>【有効性】</b>		
⑨補助金額に見合う効果が十分に期待できるか	○	
⑩目的や目標を適切に設定できているか	○	産業の高度化、
<b>【公平性】</b>		
⑪その他の団体や市民との間で公平性が保たれているか	○	要件は要綱に定めており、一定のものである。
⑫交付先や補助金額は公平に決められているか	○	補助率は要綱で定められている。

補助金名称	裾野市企業立地促進事業費補助金	担当課名	渉外課
-------	-----------------	------	-----

### (5) ガイドラインの見直しの視点

評価項目	適否	(△・×の場合のみ記入)理由と今後の対応
①補助金の終期を設定しているか	×	県との間接補助制度であり、県要綱にも終期はない。
②積算基準は定められているか (前年踏襲になっていないか)	○	対象経費の明細、支払い証書の提出により要綱で定められた補助率で積算する。
③補助要綱で補助対象となる経費が明確になっているか	○	要綱による。
④補助対象経費に懇親会費、交際費、積立金等の補助対象として適当でない経費が含まれていないか	○	含まれていない。
⑤補助率の上限が、補助対象経費の2分の1以内になっているか	○	なっている。
⑥繰越金・積立金・余剰金・内部留保の額は適切か	○	ない。
⑦類似した補助金はないか	○	ない。
⑧自主財源の確保に努めているか (最低でも前年度の収入を確保しているか)	○	企業の投資活動は原則的に自己資金で賄われる。
⑨再補助(交付先が再補助)はないか	○	ない。
⑩履行確認は、適切にできているか	○	完了検査を現地で実施している。

### (6) 補助効果の検証

1補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	市内での企業の新規立地及び立地維持による雇用の場の創出と産業の活性化併せて 税収の確保
2達成状況	市内立地企業の投資促進効果がある。

3補助効果の評価	b一定の効果をあげている
4評価の理由	市内企業の新たな投資へのインセンティブとなっている。

### (7) 今後の方向性

今後の方向性	a現行のまま継続		
「a現行のまま継続」の場合		「b見直した上で継続」の場合	
継続の理由	県と連携し、市内の立地維持及び新規立地の促進を図るため。	見直しの内容	
		見直しの時期	
「c廃止する」の場合		「dその他」の場合	
廃止の理由		その他の内容	
廃止の時期			